

心理学

理学療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：大徳朋子

医療法人青嶺会 わたなベクリニック

< 講義概要 >

心理学とは何か全般を半期かけて解き、心理学のイメージを再構成していく。心理学全般を広く解説し、テキスト、ビデオを用いる。

< 学生への要望 >

心理学について知ることで、自分の周囲の人の心の動きに興味を持ってもらえたらと思います。

< 授業内容 >

1. (講義) 心理学とは
2. (講義) 感覚と知覚
3. (講義) 感情と要求
4. (講義) 思考と言語
5. (講義) 学習心理学
6. (講義) 発達心理学 I
7. (講義) 発達心理学 II
8. (講義) 社会心理学 I
9. (講義) 社会心理学 II
10. (講義) 人格心理学 I
11. (講義) 人格心理学 II
12. (講義) 臨床心理学 I
13. (講義) 臨床心理学 II
14. まとめ I
15. まとめ II

< 教科書 > 長尾 博 心理学-心と行動の科学- (資料)

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

教育学

理学療法学科

1 学年 前期

担当：久富和幸

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

新しい動向と資料をもとに、家庭教育、学校教育、社会教育、特別支援教育等について学習をする。

< 学生への要望 >

教育についての知識を得て、自分自身の学習に対する構えを正しいものにし、やがて社会人・家庭人として教育にあたる時の基礎として欲しい。勿論、目指している仕事の内容や患者の心に寄り添うためにも講義に積極的に参加し、授業の中で内容を理解するように努力すること。テキストをよく読んで活用して欲しい。

< 授業内容 >

- | | | |
|-------------------|------------------------------------|----------------|
| 1. (講義) 「教育学とは」 | (1) 人類の誕生と教育
(2) 人間の成長と教育 | 第 1 章 |
| 2. (講義) 「家庭教育」 | (1) 子どもの社会化と家庭教育
(2) 現代の家庭と教育問題 | 第 2 章 |
| 3. (講義) 「学校教育制度」 | (1) 各国の学校教育制度
(2) わが国の学校制度と動向 | 第 4 章
第 5 章 |
| 4. (講義) 「学習指導と評価」 | (1) 学習指導の原理
(2) 教育評価の方法 | 第 6 章
第 8 章 |
| 5. (講義) 「生徒指導」 | (1) 教科以外の領域
(2) 生徒指導と実際 | 第 7 章 |
| 6. (講義) 「特別支援教育」 | (1) 心身障害者の概念
(2) 障害に応じた教育 | 第 9 章 |
| 7. (講義) 「生涯学習」 | (1) 生涯学習の概念
(2) 社会教育とその施設 | 第 3 章 |
| 8. 「その他、学習のまとめ」 | | |

< 教科書 > 木村 元 系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院

< 参考書 > 長崎医療技術専門学校 平成29年度 生徒便覧

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

法学

理学療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：福崎龍馬

弁護士法人ふくざき法律事務所

< 講義概要 >

以下のテーマを法学の観点から講義する。①患者や高齢者・障害者などの医療や福祉を享受する人たちの人権（権利や利益）②法的な観点からみた医療や福祉の問題点 ③その他関連するテーマ

< 学生への要望 >

医療や福祉の領域における患者や高齢者・障害者の人権について、学問的に論議されている内容や現場で実践されている内容等に関する認識や知識を深めて欲しい。

< 授業内容 >

医療の世界における「医の倫理」の歴史を確認し、その上に発展してきたインフォームド・コンセントに関する知識や認識を深め、その背景をなす患者等の自己決定権の意味するもの、日本国憲法上の自己決定権の位置付け等を学び、その他密接に関連する現代的テーマとしての「尊厳死」「安楽死」「臓器移植」「生殖補助医療」等について議論し検討する。

1. (講義) 医学の進歩に追いつかない法秩序 (例えば、人工妊娠中絶と生殖補助医療)
- 2-3. (講義) 歴史からみた“医の倫理”
4. (講義) 日本国憲法の下における医療と福祉
- 5-8. (講義) インフォームド・コンセント
9. (講義) 看護師の業務とその責任
10. (講義) 介護・介助に関する事故 (医療事故における医療者の責任)
11. (講義) 診療記録の医療訴訟上の証明力 (診療記録の訴訟上での取り扱い方)
12. (講義) 介護サービスとインフォームド・コンセント
13. (講義) 脳死と臓器移植法
14. (講義) 終末期医療 (尊厳死と安楽死)
15. まとめ

< 教科書 > 福崎博孝・他 医療の倫理 福崎法律事務

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

物理学

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：岩永 浩

< 講義概要 >

物理学は、ものの見方・考え方を学ぶ学問であるということを主眼にして、講義をすすめていきます。身近に起こる何気ない現象も、物理的な見方をすることで、新たな感動が生まれることを体験して欲しいと思います。講義の内容は力学、熱、光の性質、電気に関するもので、身の回りの現象を取り上げ、なるべく演示実験も行いますので理解を深めてください。

< 学生への要望 >

高校で物理を学んでいない人が多いのかと思われますので、基礎からわかりやすく説明します。物理は積み重ねが必要な学問ですので、できればその日のうちに10分でも良いので必ず復習してください。計算や実験結果などのレポートには色鉛筆なども用いて丁寧に書いてください。

< 授業内容 >

力学、熱、光、電気に関してはできるだけ医療機器に即した内容で演示実験を含めた授業をプリントを用いて行う。

- 1-2. (講義) 力学：慣性・作用反作用、力のモーメントの定義とその応用について説明する。特に作用反作用とテコの原理と人体のテコに関しては詳しく行う。
- 3-4. (講義) 光：反射、屈折、分散や全反射による光ファイバーを用いた胃カメラや赤外線発光ダイオードを用いたパルスオキシメーターなどの医療機器への物理的内容について説明する。
- 5-6. (講義) 熱：物質の状態変化、伝導、対流、放射、膨脹などの熱現象を理解し、応用としての水銀温度計と電子体温計、耳式体温計の原理を理解する。
7. (講義) 電気：電圧、電流、抵抗、電力についての定義。直流の乾電池と家庭に來ている交流電源の違いとその働きについて理解する。赤外線、紫外線、X線など電磁波やCT、MRIなどの医療機器に用いられている用語とその内容について理解する。講義全体のまとめを行い、試験問題の内容についても解説する。
8. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

佐藤孝一・他

医療系のための物理

東京数学社

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他：（ ノートを購入して、それによくメモし、まとめる。 ）

医療統計学

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：木下 恵

< 講義概要 >

1. 情報処理の基礎1) 日本語入力、2) MS WORDの基礎、3) MS EXCELの基礎と統計関数
2. 統計学1) 基本的な統計量、2) 統計的推定、3) 仮説検定、4) 単回帰分布

< 学生への要望 >

- 1) 講義開始時に学ぶ基本的な統計用語を確実に理解し記憶すること。2) わからないことをそのままにせず、最初から地道に知識と技術の習得に努めること。

< 授業内容 >

1. (講義) MS WORD, 度数分布とヒストグラム
2. (講義) MS WORD, 母集団とサンプル 統計量 平均値、標本標準偏差、標本分散
3. (講義) MS EXCEL, 正規分布と標準化定理
4. (講義) MS EXCEL, 統計分布と確率計算 標本が得られる確率
5. (講義) MS EXCEL, 標本分散と t 分布
6. (講義) MS EXCEL, 信頼区間
7. (講義) 検定の考え方
8. (講義) 平均値の検定と検定の手順
9. (講義) 正規分布の検定
10. (講義) 一標本の平均値の検定
11. (講義) 二標本の平均値の検定 (1)
12. (講義) 二標本の平均値の検定 (2)
13. (演習) 相関係数、単回帰分析
14. (演習) 分割表の検定
15. まとめ

< 教科書 > 中村 剛 新版 統計科学入門
講師作成のプリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (随時実施する演習)

研究方法論

理学療法学科
1 学年 後期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

< 講義概要 >

研究とは何か、研究の本質や必要性、論文の書き方を学ぶ。さらに提示されたテーマを基に実験や検証を行い、結果をまとめ報告する。

< 学生への要望 >

論文を読むことは臨床上、自らの知識や技術を深めるために大切なことです。わからない用語は調べ、きちんと内容を理解できるようにして下さい。また、前期に習得した医療統計学を復習し、演習に活用できるようにして下さい。

< 授業内容 >

1. (講義) 研究とは何か、研究の流れを理解する。 (下村)
論文の読み方、書式を学ぶ。
研究デザインに必要な知識を学ぶ。
2. (講義) 統計手法の概略を理解する。 (賀村)
- 3-14. (演習) テーマに沿った実験、検証を実施し、結果の集約について学ぶ。 (専任教員)
研究内容を深めるための参考文献の使い方を学ぶ。
レジュメ、パワーポイント資料の作成方法を知る。
研究結果を学会形式で発表することを体験する。
15. まとめ

< 教科書 > 千住秀明・他 はじめての研究法—コメディカルの研究法入門 神陵文庫

< 参考書 > 標準理学療法学 理学療法研究 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (活動状況)

医学英語

理学療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 小路武彦

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

医学生物学分野において、特集記事として記載された短文でまとめた内容をもつ英文のコピーを教科書として用い、実践的な英文読解力を身に付けることを目的とする。毎回異なるトピックスを扱うので医療現場での、最近の話題にも親しんでいただく。

< 学生への要望 >

予習と復習は、外国語の学習にとって必須である。特に専門用語はある程度暗記していただく必要があります。各トピックスは日常生活でも役立つ内容なので是非興味をもって取り組んで頂きたい。

< 授業内容 >

具体的には、色々なトピックスについての説明文を毎回の授業の際に配布するので、次週までに予習していただく。辞書類は毎回持参すること、授業中は、指名により文章の一部について音読と日本語訳を個々に行ってもらい、その内容を訂正あるいは補足説明する形式で授業を進める。更に各トピックスが扱う内容そのものに関しても若干の専門的解説を加える予定である。

トピックスとして予定しているものは、・・・1. Cloning of Humans, 2. The Harm Done by Acid Rain, 3. Shin Cancer on the Rise, 4. Weight Loss the Healthy Way, 5. Carbon Monoxide: A Deadly Poison, 6. Photochemical Smog Can Kill, 7. The Most Often Asked Questions About Tobacco and Health, 8. Urinary Tract Infections Require Attention, 9. You Can Avoid Osteoporosis, 10. Melatonin, Endocrine-Disrupting, 11. Contaminants, 12. Preventing Birth Defects, 13. Organs for Transplant, 14. Bioweapons, 15. Antibiotics, 16. Preventing Transmission of STDs, 17. Prevention of Cancer, 18. Tobacco and Alcohol Use, 19. The Theory of Evolution 等といった内容 (いずれも S. S. Mader 著の Human Biology から抜粋) である。

1. (講義) トピックス1
2. (講義) トピックス2
3. (講義) トピックス3
4. (講義) トピックス4
5. (講義) トピックス5
6. (講義) トピックス6
7. (講義) トピックス7-8
8. (講義) トピックス9
9. (講義) トピックス10
10. (講義) トピックス11-12
11. (講義) トピックス13-14
12. (講義) トピックス15-16
13. (講義) トピックス17-18
14. (講義) トピックス19
15. まとめ

< 教科書 >

英和中辞典

研究社

講師作成テキスト

< 参考書 >

英和大辞典

研究社

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： (単元ごとに、確認テストを行う)

文章表現法

理学療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：岩下真澄

活水女子大学文学部

< 講義概要 >

「わかりやすい文章を書く」ことは技術である。技術は理論を知り、練習を繰り返すことで身につけることができる。この授業では、学校生活だけでなく社会に出て仕事を始めてからも役に立つ、文章を書く技術を学ぶ。

< 学生への要望 >

「作文」と「レポート」は別物である。作文に対する苦手意識を捨て、新たな気持ちで授業に挑んでほしい。次回の授業までにその日の授業で使った資料やテキストの該当箇所をもう一度読んで復習しておくこと。
課題は必ず提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) オリエンテーション
2. (講義) 文章の基本
3. (講義) 文書を書く前に大切なこと
4. (講義) 論理的に書くために必要なルール
5. (講義) よいレポートの条件
6. (講義) 専門別の書き方
7. (講義) 事例報告の書き方
8. (講義) 症例レポートの書き方
9. (講義) 読みやすいレポートにする工夫 (1)
10. (講義) 読みやすいレポートにする工夫 (2)
11. (講義) 読みやすいレポートにする工夫 (3)
12. (講義) 情報の読み取りと文章化
13. (講義) よりよい文にするための注意点
14. (講義) 推敲・校正のしかた
15. まとめ

< 教科書 > 高谷 修 PT・OT学生の文章力を育てる！レポートの書き方 金芳堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

コミュニケーション学

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：杉町尚美・牧山美穂
荒木一博

専任教員

< 講義概要 >

人と接する際には、まず自分の特性を知ること、他者の対人パターンの在り方を理解することが大切である。その上でコミュニケーションを取る時に必要となる基本的なマナーやコミュニケーションスキルについて学習する。

< 学生への要望 >

積極的に学ぶ姿勢を持つ。

< 授業内容 >

1. (講義) コミュニケーションとは (杉町)
2. (講義) 自己概念及び自己評価① (牧山)
3. (講義) 自己概念及び自己評価② (牧山)
4. (講義) 効果的なコミュニケーションスキル① (牧山)
5. (講義) 効果的なコミュニケーションスキル② (荒木)
6. (講義) 社会人のマナーとしてのコミュニケーション① (牧山)
7. (講義) 社会人のマナーとしてのコミュニケーション② (牧山)
8. (講義) 臨床で役に立つコミュニケーション① (荒木)
9. (講義) 臨床で役に立つコミュニケーション② (牧山)
- 10-11. (講義) 表現方法①② (牧山・荒木)
- 12-14. (講義) ディベート (杉町)
15. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

澤 俊二	コミュニケーションスキルの磨き方	医歯薬出版
Philip Burnard	保健医療職のための伝える技術 伝わる技術	医学書院
山口美和	PT・OTのための1コミュニケーション実践ガイド	医学書院

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

解剖学 I

理学療法学科
1 学年 前期

2 単位 [60 時間]

講義	2 単位	60 時間
実技	単位	時間

担当： 分部哲秋

校長

賀村 肇・林 勇一郎

専任教員

< 講義概要 >

正常な人体の形態と構造について、肉眼解剖学の立場から解説する。

< 学生への要望 >

解剖学は医学の最も基礎的な分野であり、専門科目を学ぶ上に不可欠である。多くの量を学ぶことになるが、毎日の積み重ねで克服できるものであり、努力に勝る道はないと考えて欲しい。

< 授業内容 >

1-4. (講義)解剖学概論①-④	(分部)	23-24. (講義)心臓①-②	(分部)
5. (講義)骨学総論	(賀村)	25-27. (講義)動脈系①-③	(分部)
6. (講義)骨系(脊柱・胸部)	(賀村)	28-29. (講義)静脈系①-②	(分部)
7. (演習)骨系演習(脊柱・胸部)	(賀村・林)	30. (講義)リンパ系	(分部)
8. (講義)骨系(上肢帯・上肢)	(賀村)	31. まとめ	
9. (演習)骨系演習(上肢帯)①	(賀村・林)		
10. (演習)骨系演習(上肢)②	(賀村・林)		
11. (講義)骨系(下肢帯・下肢)	(賀村)		
12. (演習)骨系演習(下肢帯・下肢)①	(賀村・林)		
13. (演習)骨系演習(下肢帯・下肢)②	(賀村・林)		
14. (講義)骨系(頭蓋)	(賀村)		
15. (演習)骨系演習(頭蓋)	(賀村・林)		
16. (講義)筋系(体幹)①	(分部)		
17. (講義)筋系(体幹)②	(分部)		
18. (講義)筋系(上肢帯・上肢)	(分部)		
19. (講義)筋系(上肢)	(分部)		
20. (講義)筋系(下肢帯)	(分部)		
21. (講義)筋系(下肢)	(分部)		
22. (講義)筋系(顔面・咀嚼筋)	(分部)		

< 教科書 >	平田幸男	分冊 解剖学アトラス I・II・III	文光堂
	坂井建雄	プロメテウス解剖学 コア アトラス	医学書院

< 参考書 >	小川鼎三・他	分担 解剖学1. 2. 3	金原書店
---------	--------	---------------	------

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

解剖学Ⅱ

理学療法学科
1 学年 後期

2 単位 [60 時間]

講義	2 単位	60 時間
実技	単位	時間

担当： 分部哲秋
佐伯和信

校長

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

解剖学Ⅰの分野に続いて、人体諸器官の正常構造を、関連する簡単な機能を含めて解説する。

< 学生への要望 >

解剖学の知識は、将来の専門的な事柄を理解するための基礎的な知識となる。先ず人の身体がどうなっているのか興味を持って欲しい。その上で、講義で出てくる解剖学用語を学生諸君自らが考えて理解していく姿勢が望ましい。

< 授業内容 >

- (1) 内臓学
- | | | |
|--------|-----------|------|
| 1-3. | (講義) 消化器系 | (佐伯) |
| 4-5. | (講義) 呼吸器系 | (佐伯) |
| 6-7. | (講義) 泌尿器系 | (佐伯) |
| 8-9. | (講義) 生殖器系 | (佐伯) |
| 10-11. | (講義) 内分泌系 | (佐伯) |

- (2) 神経学
- | | | |
|--------|---------------|------|
| 12. | (講義) 神経系の概要 | (分部) |
| 13. | (講義) 復習 | (分部) |
| 14-15. | (講義) 脊髄神経 | (分部) |
| 16-17. | (講義) 脳神経 | (分部) |
| 18. | (講義) 脳幹・小脳 | (分部) |
| 19. | (講義) 大脳 | (分部) |
| 20. | (講義) 脳 脊髄液・動脈 | (分部) |
| 21. | (講義) 自律神経系 | (分部) |

- (3) 感覚器学
- | | | |
|--------|------------|------|
| 22-23. | (講義) 外皮 | (分部) |
| 24-25. | (講義) 視覚器 | (分部) |
| 26-27. | (講義) 平衡聴覚器 | (分部) |
| 28-29. | (講義) 嗅覚器 | (分部) |
| 30. | まとめ | |

< 教科書 > 藤田 恒太郎 人体解剖学 改訂第42版 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

生理学 I

理学療法学科

1 学年 前期

担当：松本逸郎

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

人体の個々の臓器は液性因子と神経因子を介して調節され、中枢神経系が統合的に支配調節することで機能が発揮する。ヒトを取り巻く外的または内的環境は絶え間なく変化するので臓器レベルに止まらず、中枢神経系の各階層でより精度の高い調節をうけ環境の変化に適応し、生体の恒常性が保たれる。本講は生理学Ⅲ(後期開講)と連動して、細胞、血液、自律神経、心臓・循環器、呼吸、体温調節について構造と機能を関連づけて生体恒常性の精妙な調節機序を学ぶ。

< 学生への要望 >

講義のプリント(パワーポイントで作成した図)を予め配布するので、予習しておくこと。分からないことがあれば、講義中でも終了後でも良いので質問すること。各々の講義の最後に小テスト問題を提示するので、解答を提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 細胞 I : 細胞の構造、細胞内液と細胞外液の組成、電解質濃度、浸透圧、pH
2. (講義) 細胞 II : 細胞膜と膜電位、イオンチャンネル、静止電位、脱分極電位と過分極電位
3. (講義) 血液 I : 赤血球、白血球、血小板、骨髄幹細胞
4. (講義) 血液 II : 血漿、血漿蛋白、凝固と線溶、血液型
5. (講義) 自律神経 I : 交感神経系、副交感神経系
6. (講義) 自律神経 II : 自律神経系による内臓機能の調節
7. (講義) 循環 I : 固有心筋、特殊心筋、心筋の電気的/機械的特性、神経による調節
8. (講義) 循環 II : 心周期、心電図、心機図(心音、脈波、心内圧曲線)
9. (講義) 循環 III : 血管の種類と構造の特徴、肺循環と体循環(脳、消化管、胎児の循環)、微小循環
10. (講義) 循環 IV : 血圧の神経調節と液性調節、中枢神経系の働き
11. (講義) 呼吸 I : 肺と気道の構造と働き
12. (講義) 呼吸 II : 呼吸運動とその調節
13. (講義) 呼吸 III : ガス交換とガス(O₂とCO₂)の運搬
14. (講義) 体温 : 体温調節、発熱、うつ熱
15. 総括 : まとめ

< 教科書 > 林正健二 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 第4版 メディカ出版

< 参考書 > 中嶋雅実 PT OT基礎から学ぶ生理学ノート第2版 医歯薬出版
坂井建雄 系統看護学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他 : ()

生理学Ⅱ

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：土居裕和

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

本講義は、理学療法・作業療法を習得するための基礎となる、運動制御の神経制御の神経学的基礎についての理解を養うことを主たる目的としている。講義では、神経生物学の基礎事項に始まり、主に運動制御を司る神経メカニズムについて概説する。これに加え、感覚機能や、情動・思考などの高次精神機能を司る神経メカニズムについての知識を習得することで、人間の神経システムの全体像を俯瞰できるようになることを目指す。

< 学生への要望 >

< 授業内容 >

1. (講義) 筋・骨格系①
2. (講義) 筋・骨格系②
3. (講義) ニューロンの形態と機能①
4. (講義) ニューロンの形態と機能②
5. (講義) 中枢神経系① (脊髄・脳神経)
6. (講義) 中枢神経系② (脳幹・間脳・小脳)
7. (講義) 中枢神経系③ (大脳皮質・大脳辺縁系・大脳基底核)
8. (講義) 末梢神経系 (脊髄神経・自律神経)
9. (講義) 神経伝導路①
10. (講義) 神経伝導路②
11. (講義) 感覚① (体性感覚・内臓感覚)
12. (講義) 感覚② (視覚)
13. (講義) 感覚③ (聴覚・味覚・嗅覚)
14. (講義) まとめ①
15. (講義) まとめ②

< 教科書 > 林正健二 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 第4版 メディカ出版

< 参考書 > 田中富久子 カラー図解はじめての生理学 上 動物機能編 ブルーバックス
坂井建雄 系統看護学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

生理学Ⅲ

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：松本逸郎

< 講義概要 >

生理学Iに続いて、より高度に調節された機能である消化・吸収、免疫、腎臓・体液、酸・塩基平衡、内分泌、加齢による代表的な機能障害の病態生理について学ぶ。

< 学生への要望 >

講義のプリント(パワーポイントで作成した図)を予め配布するので、予習しておくこと。分からないことがあれば、講義中でも終了後でも良いので質問すること。小テスト問題の解答も前期同様に随時提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 消化・吸収Ⅰ：消化管の運動
2. (講義) 消化・吸収Ⅱ：消化と吸収(嚥下、食道、胃、小腸、結腸、排便)
3. (講義) 肝・胆・膵：肝臓・胆嚢・膵臓の機能、消化管ホルモンによる調節
4. (講義) 免疫Ⅰ：リンパ球の働き、免疫機能
5. (講義) 免疫Ⅱ：炎症と生体防衛機能
6. (講義) 腎臓Ⅰ：ネフロン、糸球体濾過、クリアランス
7. (講義) 腎臓Ⅱ：再吸収と電解質バランス、排尿
8. (講義) 腎臓Ⅲ：血圧調節、ホルモン産生(エリスロポエチン、ビタミンD3)
9. (講義) 酸・塩基平衡：呼吸性酸塩基平衡異常、代謝性酸塩基平衡異常、肺と腎臓の代償作用
10. (講義) 内分泌Ⅰ：概論(ホルモン産生臓器、ホルモンの種類と作用機構)
11. (講義) 内分泌Ⅱ：視床下部-下垂体-甲状腺-副腎-性腺
12. (講義) 内分泌Ⅲ：成長、糖代謝、骨代謝とCa²⁺代謝、
13. (講義) 加齢Ⅰ：高血圧、心筋梗塞、貧血、腎不全の病態生理
14. (講義) 加齢Ⅱ：脳梗塞、運動障害、嚥下障害、関節症状、睡眠障害の病態生理
15. まとめ

< 教科書 > 林正健二 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 第4版 メディカ出版

< 参考書 > 中嶋雅実 PT OT基礎から学ぶ生理学ノート第2版 医歯薬出版
坂井建雄 系統看護学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動学 I

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：賀村 肇

専任教員

< 講義概要 >

人体の基本的な構造と運動の仕組みを、解剖学・生理学などの知識と共に体系的に学んでいく。

< 学生への要望 >

原則的に教科書に沿って進めるので復習を欠かさないこと。

< 授業内容 >

1. (講義) 運動の捉え方
- 2-3. (講義) 運動力学の基礎
4. (講義) 細胞と興奮伝達
5. (講義) 関節の構造と機能
- 6-7. (講義) 骨格筋の構造と機能
8. (講義) 末梢神経と自律神経
- 9-10. (講義) 中枢神経系の構造と機能
11. (講義) 反射の仕組み
12. (講義) 立ち直りと平衡感覚
13. (講義) 行為と運動プログラム
14. (講義) 感覚器の構造と機能
15. 　　まとめ

< 教科書 > 中村隆一 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動学Ⅱ

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：賀村 肇

専任教員

< 講義概要 >

前期で学んだ内容を演習を併行しながら、より具体的に深めていく

< 学生への要望 >

前期の内容を復習し理解しておくこと

< 授業内容 >

1. (講義) 上肢帯の運動
2. (講義) 肩関節の運動
3. (演習) 上肢帯・肩関節の運動演習
4. (講義) 肘関節
5. (講義) 手関節・手の運動
6. (演習) 肘・手の運動演習
7. (講義) 股関節の運動
8. (講義) 膝関節の運動
9. (講義) 足関節と足の運動
10. (演習) 下肢の運動学演習
11. (講義) 体幹の運動 (頸部)
12. (講義) 体幹の運動 (胸部・腰椎)
13. (演習) 体幹の運動演習
14. (講義) 顔面・頭部の運動
15. 　　　　　　まとめ

< 教科書 > 中村隆一 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

人間発達学

理学療法学科
1 学年 後期

担当：土田玲子

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

NPO法人 なごみの杜

<講義概要>

ヒトは受精卵から胎芽・胎児を経て出生し、成人になるまで発達していく。作業療法・理学療法を行う際に患児の発達段階の理解は必要である。

<学生への要望>

講義をただ聴くだけでなく各自で考えるという作業をしながら授業を進めたい。

<授業内容>

1. (講義) 人間発達の概念など
2. (講義) 胎芽・胎児期、乳児期1
3. (講義) 乳児期2
4. (講義) 発達障がい、幼児期前期
5. (講義) 学童期1
6. (講義) 学童期2
7. (講義) 青年期
8. (講義) 成人期
9. (講義) ディスカッション
10. (講義) 高齢期1
11. (講義) 高齢期2
12. (講義) 高齢期3
13. (講義) 言語発達
14. (講義) 復習
15. まとめ

<教科書> 福田恵美子 人間発達学 中外医学社

<参考書>

<評価方法> 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

臨床心理学

理学療法学科
1 学年 後期

担当：大徳朋子

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

医療法人青嶺会 わたなベクリニック

< 講義概要 >

理学療法士・作業療法士として、心身に障害を持つ者と関わる際の関わり方を特に学ぶ。臨床心理学とは何か、その歴史、心理面接や心理テストの内容についてを特に詳しく学ぶ。

< 学生への要望 >

心の発達を知り、自分自身を振り返る機会にしてもらいたい。その上で人と関わるヒントを得てもらえればと思います。

< 授業内容 >

1. (講義) 臨床心理学とは
2. (講義) 臨床心理学の歴史
3. (講義) 人間観とパーソナリティ論①
4. (講義) 人間観とパーソナリティ論②
5. (講義) 心の発達について①
6. (講義) 心の発達について②
7. (講義) 心の発達について③
8. (講義) 心理テストについて①
9. (講義) 心理テストについて②
10. (講義) 心理面接の各種技法について①
11. (講義) 心理面接の各種技法について②
12. (講義) まとめ
13. (講義) ビデオ学習 (カウンセリング)
14. (講義) ビデオ学習 (面接)
15. まとめ

< 教科書 > 長尾 博 現代臨床心理学講座 (資料)

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

内科学 I

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：井手政利

井手内科クリニック

< 講義概要 >

内科学は臨床医学の中心となる学問である。また、リハビリテーションの対象となる患者の多くは内科疾患を合併しており、患者評価やリハビリ計画の実践にも内科全般にわたる正しい知識が必要であり、これらの点から内科学は理学療法士・作業療法士にとってきわめて重要な科目である。病態の理解を中心とした生きた知識を身につける必要がある。教科書で足りない部分はプリントで補って授業を進めている。

< 学生への要望 >

高校までの受身の学習と違い、専門学校は自ら学ぶ姿勢がきわめて重要である。内科学は範囲が広く、期末試験前の一夜漬けで期末試験を乗り切るのは困難である。また、内科学の知識は試験が終われば忘れてよい知識ではなく、臨床実習でも、さらにプロの医療職としても欠かせない基本的知識である。日頃の地道な勉強で生きた知識を身につけることが内科学学習の鉄則である。

< 授業内容 >

1. (講義) 感染症総論
2. (講義) 感染症各論1：細菌感染症等
3. (講義) 感染症各論2：ウイルス感染症等
4. (講義) 免疫系の基礎知識、アレルギー疾患
5. (講義) 膠原病
6. (講義) 膠原病、免疫不全
7. (講義) 循環器系の解剖、病態生理、症候
8. (講義) 診断法 (心電図を中心に)
9. (講義) 疾患各論 (高血圧症、冠動脈・弁膜疾患)
10. (講義) 疾患各論 (高血圧症、冠動脈・弁膜疾患)
11. (講義) 呼吸器疾患の総論的事項
12. (講義) 閉塞性肺疾患・拘束性肺疾患
13. (講義) 感染性肺疾患・腫瘍性肺疾患
14. (講義) 過去問演習による復習
15. 　　まとめ

< 教科書 > 前田眞治ほか 標準PT・OTシリーズ 内科学 第3版 医学書院
プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

整形外科 I

理学療法学科

1 学年 後期

担当：衛藤正雄

1 単位 [30 時間]

済生会長崎病院

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

整形外科一般

< 学生への要望 >

授業をよく聞き、大切な個所をチェックする。

< 授業内容 >

1. (講義) 整形外科総論 診断学
2. (講義) 整形外科総論 治療法 (保存療法)
3. (講義) 整形外科総論 治療法 (手術療法)
4. (講義) 整形外科各論 軟部組織損傷
5. (講義) 整形外科各論 骨・関節の損傷各論
6. (講義) 整形外科各論 肩関節及び上腕の疾患
7. (講義) 整形外科各論 肘関節及び前腕の疾患
8. (講義) 整形外科各論 手関節及び手指の疾患
9. (講義) 整形外科各論 手の変形と拘縮
10. (講義) 整形外科各論 股関節及び大腿の疾患
11. (講義) 整形外科各論 膝関節及び下腿の疾患
12. (講義) 整形外科各論 足関節と足部の疾患
13. (講義) 整形外科各論 脊椎外傷
14. (講義) 整形外科各論 脊椎のその他の疾患
15. まとめ

< 教科書 > 高橋邦泰 他 整形外科テキスト 改訂第3版 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

神経内科学 I

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：佐藤 聡・富田逸郎
瀬戸牧子・佐藤秀代

長崎北病院

< 講義概要 >

理学療法士、作業療法士として最低知っておくべき神経内科学の総論的事項の講義を行う。

< 学生への要望 >

授業を単に聞くのではなく、重要な点はノート・メモをしっかりとって欲しい。また、過去問は出題者のメッセージである。

< 授業内容 >

- | | | |
|----|--------------------------------|------|
| 総論 | 1. (講義) 中枢神経系の解剖と機能 (1) | (富田) |
| | 2. (講義) 中枢神経系の解剖と機能 (2) | (佐藤) |
| | 3. (講義) 神経学診断と評価 (1) | (佐藤) |
| | 4. (講義) 神経学診断と評価 (2) | (富田) |
| | 5. (講義) 神経学的検査法 | (富田) |
| | 6. (講義) 意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神 | (瀬戸) |
| | 7. (講義) 運動麻痺、錐体路症状、筋萎縮 | (一瀬) |
| | 8. (講義) 錐体外路症状、不随意運動、運動失調 | (富田) |
| | 9. (講義) 感覚障害、失語症 | (佐藤) |
| | 10. (講義) 失認、失行 | (富田) |
| | 11. (講義) 記憶障害、注意障害、遂行機能障害 | (福島) |
| | 12. (講義) 構音障害、嚥下障害、球麻痺、脳外科領域疾患 | (中田) |
| | 13. (講義) 知能検査、認知症 | (富田) |
| | 14. (講義) 補講 | (富田) |
| | 15. まとめ | |

< 教科書 > 奈良 勲 神経内科学 第4版 (PT・OT専門基礎分野) 医学書院

< 参考書 > 田崎義昭 ベッドサイドの神経の診かた 神経病学 南山堂

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

精神医学

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：中村聰美

専任教員

< 講義概要 >

精神症状、精神疾患各論および治療について学習する。

< 学生への要望 >

予習、復習を行い、ひとの精神機能および障害について理解を深めてほしい。範囲が広いのでわからない用語は、本や辞書で調べる習慣を身につけてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 精神医学とは／精神科保健医療と福祉
2. (講義) 精神障害の成因と分類
3. (講義) 精神機能の障害と精神症状①
4. (講義) 精神機能の障害と精神症状②
5. (講義) 器質性精神障害① (認知症)
6. (講義) 器質性精神障害② (認知症の方への関わり)
7. (講義) 統合失調症
8. (講義) 気分 (感情) 障害
9. (講義) 神経症性障害
10. (講義) 精神作用物質使用による精神障害
11. (講義) てんかん／人格障害
12. (講義) ライフサイクルにおける精神障害
13. (講義) 精神障害の治療
14. (講義) 社会・文化とメンタルヘルス
15. まとめ

< 教科書 > 上野武治 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版 医学書院

< 参考書 > 太田保之・他 学生のための精神医学 第3版 医歯薬出版
野村聡一郎・他 標準精神医学 第5版 医学書院
長尾 博 図表で学ぶ精神保健 培風館

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

外科学

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当： 宮川尚孝

宮川外科医院

< 講義概要 >

外科学と内科学の違いは、主として治療手段の違いであって、扱う疾患はほとんど同じであり、近年、両者の差は非常に小さくなっている。同じ講師が内科学と外科学を担当するので、両教科の授業内容を合わせて臨床医学の概念が頭に入るように、外科学の授業は外科領域に特有の総論的なテーマを中心に学習し、各論の内容は内科学で学習することにしたい。

< 学生への要望 >

外科学は、内科学や整形外科学に比べるとリハビリテーションとの関係が薄いように感じられるかも知れないが、現代医学の中で重要な位置を占めており、外科の知識と技術は君たちが医療現場に出てからもぜひ必要なものである。私自身の40年に及ぶ外科医としての体験を含め、「外科とは何か」という問題を君たちと一緒に考えてみたいと思う。

< 授業内容 >

1. (講義) 外科の歴史、外科の特殊性
2. (講義) 無菌法、感染予防
3. (講義) 損傷 (機械的損傷を中心に)
4. (講義) 非機械的損傷 (とくに熱傷)
5. (講義) 腫瘍、輸血・輸液
6. (講義) 外科各論 (心臓外科、臓器移植等)
7. (講義) 問題演習
8. 　　　　　まとめ

以上の7項目を予定しています (進行状況に応じて変更の可能性もあります)

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

脳神経外科学

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当： 陶山一彦

長崎みなとメディカルセンター市民病院

< 講義概要 >

脳神経外科学についての知識を深め、実践に役立てる。

< 学生への要望 >

考える習慣をつけ、不明な点は早めに解決しましょう。

< 授業内容 >

1. (講義) 神経の臨床解剖、画像診断
2. (講義) 神経症候
3. (講義) 脳血管障害 (くも膜下出血)
4. (講義) 脳血管障害 (脳出血)
5. (講義) 脳血管障害 (脳梗塞)
6. (講義) 脳腫瘍
7. (講義) 頭部外傷
8. 　　まとめ

< 教科書 > 井手隆文 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

社会福祉論

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：勝矢圭一

LIFE・DESIGN株式会社

< 講義概要 >

社会福祉の歴史とその概要を学び、あわせて時事の話題や課題に触れながら今後の社会福祉の在り方について考察する。以下のことを学習のねらいとする。1) 諸外国を含めた社会福祉の概念ととりまく状況を理解する。2) 日本における福祉の現状と課題を理解する。3) 日本における福祉のビジョンとトレンドを理解する。4) 社会福祉を支える社会資源について理解する。5) 今後の我が国の社会福祉の課題と展望を考察する。

< 学生への要望 >

セラピストとして生理学的な知識等は必須だが、その先にあるクライアントの「暮らし」も同様に重要な視点である。この「暮らし」を支える諸施策の基本を学ぶと同時に、セラピストとして患者さんや地域に対してどう関わっていけるかを考察して欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 社会福祉の理念
2. (講義) 家族の変容と社会福祉・福祉職の形成過程
3. (講義) 各専門職の専門性と課題
4. (講義) 地域福祉の推進とビジョン
5. (講義) 権利擁護
6. (講義) 諸外国における社会福祉の動向
7. (講義) 地域包括ケアシステム構想 その1
8. (講義) 地域包括ケアシステム構想 その2
9. (講義) 地域医療構想と地域医療計画
10. (講義) 健康寿命の延伸と医療並びにケアの関係
11. (講義) 認知症を支えるケアと施策
12. (講義) 多死の時代の最期の在り方
13. (講義) これからの日本の社会福祉の展望 その1
14. (講義) これからの日本の社会福祉の展望 その2
15. (講義) まとめ

< 教科書 > 佐々木 淳 これからの医療と介護のカタチ 日本医療企画
三好禎之 初めての社会福祉論 法律文化社

< 参考書 > 社会福祉六法、国民の福祉動向、厚生労働白書

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

リハビリテーション概論Ⅰ

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：林 勇一郎

専任教員

< 講義概要 >

リハビリテーションに携わる専門職を目指すものとして、「健康」と「障害」について理解し、個人や社会の障害に対する考え方の変遷、社会保障体制の変化を学ぶ必要がある。リハビリテーション概論では、これらの基本知識を習得し、それらに関連する職種についての理解を深める。

< 学生への要望 >

わからない言葉・用語は、辞書などで調べ、理解していくよう心がけて下さい。

< 授業内容 >

1. (講義) リハビリテーションとは
2. (講義) リハビリテーションの対象と障害者の実態
3. (講義) エンパワメントとノーマライゼーション
4. (講義) 健康と障害
5. (講義) 国際生活機能分類①
6. (講義) 国際生活機能分類②
7. (講義) 国際生活機能分類③
8. (講義) リハビリテーションの目的と過程
9. (講義) リハビリテーションの領域①
10. (講義) リハビリテーションの領域②
11. (講義) チームアプローチと専門職①
12. (講義) チームアプローチと専門職②
13. (講義) 地域リハビリテーション①
14. (講義) 地域リハビリテーション②
15. まとめ

< 教科書 > 栢森良三 学生のためのリハビリテーション医学概論 第2版 医歯薬出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

リハビリテーション概論Ⅱ

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 韋 傳春・牧山美穂
中村聰美

専任教員

< 講義概要 >

リハビリテーションに携わる専門職を目指すものとして、「健康」と「障害」について理解し、個人や社会の障害に対する考え方の変遷を学ぶ必要がある。リハビリテーション概論Ⅱでは障害体験を通して、障害者の立場から生活環境を見つめ直し普段気づかないバリアについてPT・OTの立場から考えていく。

< 学生への要望 >

わからない言葉・用語は、辞書などで調べ、理解していくよう心がけて下さい。また単に体験で終わるのではなく、それによって感じた事を大切にして下さい。

< 授業内容 >

1. (講義) バリアフリー、ユニバーサルデザイン① (韋)
2. (講義) バリアフリー、ユニバーサルデザイン② (韋)
3. (講義) 障害体験オリエンテーション・行動計画立案 (韋・中村)
4. (演習) 介護技術① (視覚障害) (牧山)
5. (演習) 介護技術② (介助動作) (牧山)
6. (演習) 障害体験 (韋・中村)
7. (演習) 障害体験 (韋・中村)
8. (演習) 障害体験まとめ (韋・中村)
9. (演習) 障害体験まとめ (韋・中村)
10. (講義) 障害体験発表会 (韋・中村)
11. (演習) 障害者スポーツ体験 (牧山)
12. (演習) 手話体験 (牧山)
13. (講義) 障害者の活動と参加を知る① (中村)
14. (講義) 障害者の活動と参加を知る② (中村)
15. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： (

)

理学療法概論Ⅰ

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 山内 満

専任教員

< 講義概要 >

この科目を通じて、理学療法の全体像を理解し、医療従事者である理学療法士に必要な資質や心構えについて学ぶ。

< 学生への要望 >

授業内で積極的な発言、活動への参加を大いに期待する。

< 授業内容 >

1. (講義) オリエンテーション
2. (講義) 「理学療法士」とは？
3. (講義) 理学療法の概念
4. (講義) 理学療法の歴史
5. (講義) 資格を生かす職場
- 6-7. (演習) 施設見学準備
- 8-9. (演習) 施設見学
- 10-11. (演習) 施設見学報告
12. (講義) 職業生活の実際
13. (講義) 理学療法士の役割と方法①
14. (講義) 理学療法士の資質を考える①
15. まとめ

< 教科書 >	細田多穂	理学療法概論テキスト	南江堂
	奈良 勲	理学療法事典	医学書院

< 参考書 >		理学療法士ガイドライン	日本PT協会
		職業倫理ガイドライン	日本PT協会
		理学療法診療ガイドライン第1版	日本PT学会

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

基礎臨床概論

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員
平野淑子

専任教員
歯科衛生学科教員

< 講義概要 >

実習に直接関係する内容を学習する。臨床のイメージを早期定着化し、考える能力を養う。

< 学生への要望 >

他職種との連携など理学療法士を目指す学生に求められるものである。入学して早い時期であるが、しっかりシュミレーションして欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義)医療職と適性
2. (講義)理学療法士・作業療法士とは
3. (講義)医療職に必要な接遇とは
4. (講義)医療職としての倫理・自己管理について
5. (講義)医療環境と衛生管理
6. (講義)様々な医療専門職とその領域
7. (講義)個人情報保護・守秘義務、医療現場の環境と職務規定について
8. 　　まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

理学療法士ガイドライン	日本PT協会
職業倫理ガイドライン	日本PT協会
個人情報保護ガイドライン	日本PT協会

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

理学療法評価学 I

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：林 勇一郎・山内 満 専任教員

< 講義概要 >

対象者の身体状態を把握するためには評価の意義や技術を習得することが不可欠である。技術の習得だけでなく、意義や目的、手順などを理解することを重点的に講義していきたい。また、演習を通して評価技術の基礎をしっかりと習得していきたい。

< 学生への要望 >

評価の意義を考えながら、積極的に実技に取り組んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 理学療法評価総論①
2. (講義) 理学療法評価総論②
3. (講義) 理学療法評価総論③
4. (講義) 一般的評価事項について
5. (演習) 身体計測① (上肢)
6. (演習) 身体計測① (下肢)
7. (講義) 関節可動域検査 (上肢)
8. (演習) 関節可動域検査 (上肢) ①
9. (演習) 関節可動域検査 (上肢) ②
10. (講義) 関節可動域検査 (下肢)
11. (演習) 関節可動域検査 (下肢) ①
12. (演習) 関節可動域検査 (下肢) ②
13. (講義) 関節可動域検査 (体幹)
14. (演習) 関節可動域検査 (体幹)
15. まとめ

< 教科書 > 松澤 正 理学療法評価学 改訂第5版 金原出版
津山直一 新・徒手筋力検査法 原著第9版 協同医書出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

理学療法評価学Ⅱ

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：林 勇一郎・山内 満

専任教員

< 講義概要 >

適切な治療を進めるためには、その患者の状態を把握する手段である評価が適切に行われなければならない。評価が不適切であれば間違った治療を行ってしまい、回復にはつながらない。1年生では手技を交え、評価の意義を考えながら、基礎的な評価を習得していきたい。

< 学生への要望 >

評価の意義を考えながら、積極的に実技に取り組んでほしい。覚える量が多いので随時復習をしてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 徒手筋力検査法の意義と目的
2. (講義) 徒手筋力検査法 (肩甲帯)
3. (演習) 徒手筋力検査法 (肩甲帯) ①
4. (演習) 徒手筋力検査法 (肩甲帯) ②
5. (講義) 徒手筋力検査法 (上肢)
6. (演習) 徒手筋力検査法 (上肢) ①
7. (演習) 徒手筋力検査法 (上肢) ②
8. (演習) 徒手筋力検査法 (上肢) ③
9. (講義) 徒手筋力検査法 (下肢)
10. (演習) 徒手筋力検査法 (下肢) ①
11. (演習) 徒手筋力検査法 (下肢) ②
12. (演習) 徒手筋力検査法 (下肢) ③
13. (講義) 徒手筋力検査法 (体幹)
14. (演習) 徒手筋力検査法 (体幹)
15. まとめ

< 教科書 > 津山直一 新・徒手筋力検査法 協同医書出版
松澤 正 理学療法評価学 改訂第5版 金原出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

物理療法 I

理学療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：杉町尚美

専任教員

< 講義概要 >

理学療法の一つである物理療法について講義する。物理療法の総論から入り、温熱療法・寒冷療法・光線療法の原理・分類、生理的作用、適応と禁忌、リスク管理、機器の使用と管理について学習する。また、それぞれの治療法について演習を行う。

< 学生への要望 >

使用方法を誤ると、治療どころかケガにつながる可能性があるため、真剣に授業に取組み、理解を深めてほしい。そのためには、わからないことはその場で質問し、解決する姿勢を身につけてほしい。また、演習では積極的に機器を扱い、探究心を発揮してほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 物理療法総論
2. (講義) 熱力学の基礎、熱の生理作用
3. (講義) 表在温熱療法：ホットパック、パラフィン浴①
4. (演習) 表在温熱療法：ホットパック、パラフィン浴②
5. (講義) 深部温熱療法：極超短波①
6. (講義) 深部温熱療法：極超短波②
7. (演習) 温熱療法の演習①
8. (演習) 温熱療法の演習②
9. (講義) 寒冷の生理作用
10. (演習) 寒冷の演習
11. (講義) 光線療法：紫外線、赤外線
12. (講義) 光線療法：レーザー
13. (演習) 光線療法の演習
14. (演習) 物理療法機器取り扱いのまとめ
15. まとめ

< 教科書 > 網本 和 標準理学療法学 物理療法学 第4版 医学書院

< 参考書 > 和才嘉昭・他 リハビリテーション技術全書 医学書院
嶋田智明 物理療法マニュアル 医歯薬出版
千住秀明 物理療法 第2版 神陵文庫

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

日常生活活動Ⅰ

理学療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：岩永隆之

専任教員

< 講義概要 >

理学療法士の視点から日常生活活動を捉え、実習を通しながら正常動作の理解を深める。特に演習時にはあらゆる障害を考慮して行う。

< 学生への要望 >

身近な日常生活活動を意識し、講義内容と結び付けながら現実的に理解して欲しい。また、演習には真剣に取り組んで欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 日常生活活動の概念：学生自身の生活から
2. (講義) 日常生活活動の概念：ADLの位置づけ・範囲、QOL
3. (講義) 日常生活活動の概念：障害分類、ADL指導、APDL
4. (講義) 基本姿勢、基本動作：臥位～座位
5. (講義) 基本姿勢、基本動作：座位～膝立ち
6. (講義) 基本姿勢、基本動作：立位、歩行
7. (演習) 実際の介助法①
8. (演習) 実際の介助法②
9. (講義) リハビリテーション支援機器：杖、歩行器
10. (講義) リハビリテーション支援機器：車椅子、リフト
11. (演習) リハビリテーション支援機器：自助具など
12. (演習) 複合動作指導：杖、松葉杖歩行、階段昇降
13. (演習) 複合動作指導：車椅子介助方法
14. (講義) 日常生活活動の評価
15. 　　　　　　まとめ

< 教科書 > 橋元 隆 日常生活活動 (ADL) 神陵文庫

< 参考書 > 伊藤利之 日常生活活動 (ADL) - 評価と支援の実際 - 医歯薬出版

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

解剖学Ⅲ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [45 時間]

講義	単位	時間
実技	1 単位	45 時間

担当：弦本敏行・岡本圭史
佐伯和信／分部哲秋

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
同上 / 校長

< 講義概要 >

解剖学標本を観察させていただくことにより、人体諸器官の正常構造およびそれぞれの器官の関連性について学習する。

< 学生への要望 >

毎日、専用ゲタにはき替えた上で、開始5分前までに実習室に入室しておくこと。実習室では私語は厳禁、ご遺体には礼節を尽くすこと。

< 授業内容 >

	内容	
第1日 (実習)	I、頭部	II、頸部
第2日 (実習)	III、胸部	IV、腹部と骨盤部
第3日 (実習)	V、内臓	※脳と脊髄の観察
第4日 (実習)	VI、背部	
第5日 (実習)	VII、上肢	
第6日 (実習)	VIII、臀部	IX、下肢
第7日 (実習)	X、関節	—— 試験、清掃 ——

- 注意 ① ※については、脳全体標本、脳正中断標本および脊髄と脊髄神経標本が準備されているが、「てびき」にはこれらについて記載されていないので、各自マクロ的範囲の事項を予習してくること。
- ② 第4日の「VI、背部」については、要領よく観察し、あいた時間を上肢の観察に使うこと。

< 教科書 > 平田幸男 分冊 解剖学アトラス I・II・III 文光堂
配布プリント「解剖標本見学実習のてびき」

< 参考書 > _____

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動学Ⅲ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：賀村 肇

専任教員

< 講義概要 >

1 学年で学習した基礎をふまえて、臨床で必要な運動学、動作分析を学ぶ。

< 学生への要望 >

常に基礎分野の復習を怠らず、理解に努めること。

< 授業内容 >

1. (講義) 運動学分析の基礎
- 2-3. (講義) 身体運動能力の評価
- 4-5. (講義) 体力と運動処方
6. (講義) 姿勢とその評価
7. (演習) 姿勢とその評価
- 8-9. (講義) 歩行分析の基礎
- 10-11. (演習) 歩行分析の基礎
12. (講義) 応用歩行
13. (演習) 応用歩行
14. (講義) 運動発達と技能
15. 　　　　　　まとめ

< 教科書 > 中村隆一 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版

< 参考書 > 武田 功 臨床歩行分析ワークブック メジカルビュー

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

病理学概論

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：片瀬直樹

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

病理学は疾患の成り立ちを明らかにする基礎医学の一分野であると同時に患者から採取した細胞や組織の病理診断、術中病理診断、亡くなった患者の死因や治療上の疑問点を検討する病理解剖を担う臨床科の側面ももつ。このように病理学は基礎と臨床の橋渡しの学問として極めて重要である。履修においては、解剖学、生理学などの正常構造と機能の理解が前提となる。また病理学の知識は臨床医学を理解するうえでの基礎知識となる。本講義では病理学概論として病理学総論を主体として講義し、適宜各論の内容を補充する。

< 学生への要望 >

講義に出席する。
毎回講義資料を前もって配布するので、予習として熟読してくること。

< 授業内容 >

1. (講義) 病理学の概要、
2. (講義) 病因論 (内因、外因)
3. (講義) 先天異常 (病因と分類、遺伝子疾患、染色体異常、診断) ①
4. (講義) 先天異常 (病因と分類、遺伝子疾患、染色体異常、診断) ②
5. (講義) 代謝障害 (変性、萎縮)
6. (講義) 循環障害 (充血、うっ血、出血)
7. (講義) 循環障害 (虚血、梗塞、血栓症、塞栓症)
8. (講義) 炎症 (分類、炎症性細胞の種類)
9. (講義) 炎症 (肉芽腫性炎、組織修復と炎症)
10. (講義) 免疫 (自然免疫と獲得免疫)
11. (講義) 免疫 (抗体とT細胞受容体、過敏症と自己免疫疾患)
12. (講義) 腫瘍 (定義と分類)
13. (講義) 腫瘍 (発生機序)
14. (講義) 老化と死
15. まとめ

< 教科書 > 大橋健一 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 第4版 医学書院

< 参考書 > 梶原博毅 標準PT・OT 専門基礎分野 病理学 第4版 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

内科学Ⅱ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：井手政利
岩永正子

井手内科クリニック
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

1年後期に引き続き、消化器系疾患および系統的疾患を学習する。
教科書は1年後期と同じものを使用し、プリントを併用することも前回と同様である。
1年後期と同じく、断片的知識よりも、病態の理解を中心に授業を進める方針である。

< 学生への要望 >

学習すべき内容が多いのは2年前期も1年後期と同様である。3年という期間で国試合格の力をつけるのは容易なことではなく、内科学の知識は国試一般問題の根幹をなす重要部分であることを認識し、あと2年の期間を有効に活用する必要がある。成績がよい学生と留年する学生の違いは「頭の良さ」などではなく、日々学習する習慣が身につけているかいないかの違いである。気合を入れ直して授業に臨んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 消化器疾患1 (総論) (井手)
2. (講義) 消化器疾患2 (各論1) (井手)
3. (講義) 消化器疾患3 (各論2) (井手)
4. (講義) 胆肝膵疾患1 (解剖生理) (井手)
5. (講義) 胆肝膵疾患2 (各論1) (井手)
6. (講義) 胆肝膵疾患2 (各論1) (井手)
7. (講義) 血液・造血器疾患1 (総論) (岩永)
8. (講義) 血液・造血器疾患2 (各論) (岩永)
9. (講義) 代謝性疾患1 (井手)
10. (講義) 代謝性疾患2 (井手)
11. (講義) 内分泌疾患1 (総論) (井手)
12. (講義) 内分泌疾患2 (各論) (井手)
13. (講義) 腎・泌尿器疾患1 (井手)
14. (講義) 腎・泌尿器疾患2、演習問題 (井手)
15. まとめ

< 教科書 > 前田英治ほか 標準PT・OTシリーズ 内科学 第3版 医学書院
プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他：(試験は多肢選択式や口頭試問、記述式など。)

整形外科学Ⅱ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：衛藤正雄

済生会長崎病院

< 講義概要 >

整形外科一般（基礎、診断、治療、リハビリ）

< 学生への要望 >

特になし

< 授業内容 >

1. （講義）整形外科学各論 骨盤部の疾患
2. （講義）整形外科学各論 四肢切断及び四肢欠損
3. （講義）整形外科学各論 スポーツ整形外科 1
4. （講義）整形外科学各論 スポーツ整形外科 2
5. （講義）整形外科学各論 慢性関節疾患（退行性、代謝性）
6. （講義）整形外科学各論 リウマチとその類縁疾患
7. （講義）整形外科学各論 感染症
8. （講義）整形外科学各論 代謝・内分泌疾患
- 9-10. （講義）整形外科学各論 神経疾患・筋疾患
11. （講義）整形外科学各論 骨系統疾患
12. （講義）整形外科学各論 骨壊死及び骨端症
13. （講義）整形外科学各論 四肢循環障害
14. （講義）整形外科学各論 身体障害者スポーツ
15. まとめ

< 教科書 > 高橋邦泰 他 整形外科学テキスト 改訂第3版 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他：（ ）

神経内科学Ⅱ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：佐藤 聡・冨田逸郎
瀬戸牧子・佐藤秀代

長崎北病院

< 講義概要 >

実地臨床で遭遇することが多い神経内科疾患について、疾患概念、病因、疫学、臨床所見、検査、治療を講義する。

< 学生への要望 >

臨床・介入の場面で総軍する神経疾患は多いが、ポイントは限られている。総論同様、授業でポイントをつかんで欲しい。また、ノート、メモをしっかりとって欲しい。

< 授業内容 >

- | | | |
|----|-----------------------------------------|------|
| 各論 | 1. (講義) 脳血管疾患、頭蓋内出血、くも膜下出血 | (佐藤) |
| | 2. (講義) 脳血栓、脳塞栓、一過性脳虚血発作 | (佐藤) |
| | 3. (講義) 分水界梗塞、特異な臨床像他、診断、治療 | (佐藤) |
| | 4. (講義) 脊髄性感覚障害、脊髄疾患 | (冨田) |
| | 5. (講義) 脊髄性小脳変性症、MND、BSMA、MS、NMO、ADEM | (冨田) |
| | 6. (講義) Parkinson病、PSP、SND、SMA、Fahr病 | (佐藤) |
| | 7. (講義) ジストニー、瀬川病、Wilson、舞踏病 | (一瀬) |
| | 8. (講義) 末梢神経障害 | (一瀬) |
| | 9. (講義) ミオパチー (筋ジス) | (佐藤) |
| | 10. (講義) ミオパチー (Myotonia)、MELAS、筋無力症、筋炎 | (佐藤) |
| | 11. (講義) 神経感染症 | (冨田) |
| | 12. (講義) てんかん、中毒、先天性代謝障害 | (瀬戸) |
| | 13. (講義) 糖尿病、肝不全、腎不全、排尿障害、リウマチ | (冨田) |
| | 14. (講義) 補講、総合講義 | (冨田) |
| | 15. まとめ | |

< 教科書 > 奈良 勲 神経内科学 第4版 (PT・OT専門基礎分野) 医学書院

< 参考書 > 田崎義昭 ベッドサイドの神経の診かた 南山堂
神経病学

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

小児科学

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：馬場輝實子

活水女子大学健康生活学部

< 講義概要 >

小児期は発達段階にあり、小児期における疾患の特徴など成人との違いを理解することが大切です。したがって、PT/OTとしての役割は発達段階を考えながら行う必要があります。講義はパワーポイント（40枚位）を用いますが、資料は前もってお渡します。

< 学生への要望 >

今日の社会情勢で小児期の異常な問題がたくさんあります。何故このようなことが起こるのかを考え、小児の心理的理解および対応のあり方について日常的に関心をもって欲しい。講義内容が多いと思いますが、是非予習・復習をしてください。

< 授業内容 >

1. (講義) 小児科概論
2. (講義) 診断と治療
3. (講義) 新生児、未熟児の疾患
4. (講義) 先天性異常と遺伝病
5. (講義) 循環器疾患
6. (講義) 神経・筋・骨疾患
7. (講義) 神経・筋・骨疾患
8. (講義) 感染症
9. (講義) 血液疾患、腫瘍
10. (講義) 消化器疾患、内分泌疾患、代謝疾患
11. (講義) 腎・泌尿器疾患、生殖器疾患
12. (講義) 免疫・アレルギー疾患、膠原病
13. (講義) 習癖、睡眠関連病態、心身医学的疾患、虐待
14. (講義) 重症心身障害児
15. まとめ

< 教科書 > 富田 豊 標準理学療法学・作業療法学 小児科学 医学書院

< 参考書 > 奈良間美穂・他 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

老年医学

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：北原隆志、本多 舞

望月保志

長崎大学病院

< 講義概要 >

わが国は世界に例をみない速度で社会の高齢化が進み、超高齢社会の到来を迎えており、老年医学の重要性がますます増大している。このカリキュラムは、リハビリテーションの現場で高齢者に接するときの問題点を理解し、適切な対応の仕方を学ぶ内容にしたい。

< 学生への要望 >

高齢者のリハビリテーションを効果的に進めるためには、老化と老年期に関する総合的な知識が欠かせない。これまでのカリキュラムでは、小児特有の病態生理を学ぶ小児科学はあっても、高齢者の生理的特徴や老人に好発する疾患について包括的に学習する機会がなかった。この授業を通して加齢に伴う病態生理を理解し、将来の医療現場での活躍に生かしてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) くすりの基礎と体内での働きについて (北原)
2. (講義) くすりの相互作用について (北原)
3. (講義) 皮膚科領域 1 (本多)
4. (講義) 皮膚科領域 2 (本多)
5. (講義) 皮膚科領域 3 (本多)
6. (講義) 腎・泌尿器領域 1 (望月)
7. (講義) 腎・泌尿器領域 2 (望月)
8. (講義) 腎・泌尿器領域 3 (望月)
9. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

救急医学

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：宮川尚孝

宮川外科医院

< 講義概要 >

現代は環境が危険に満ちた時代であり、日常生活でさまざまな事故や急病に遭遇することは避けられない。その際に的確な応急処置を行えるか否かは、時に生命の予後に関係する。とくに医療現場でそのような突発事故に出会ったときに患者の生命を救えるかどうかによって、あなたのプロフェッショナルとしての力量が試されることになる。この科目では、心停止をはじめとして、生命を脅かすさまざまな病態の理解とその対応を学習し、とくに重要な心肺蘇生法は、ビデオなども用いて十分な学習を行いたい。

< 学生への要望 >

救急法の知識と技術は、教室で授業を受けて単位を取ればよいというものではなく、医療人として、あるいは責任ある社会の一員として、生涯にわたって身につけるべきものである。この教科の基本概念をよく理解し、習得して、継続的な学習を続けて欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 救急医学、救急医療システム
2. (講義) 心肺蘇生法 (その 1)
3. (講義) 心肺蘇生法 (その 2)
4. (講義) 救急症候 1 (意識障害)
5. (講義) 救急症候 2 (ショック・循環不全・心不全)
6. (講義) 救急症候 3 (呼吸困難)
7. (講義) 出血と止血
8. 　　　　まとめ

以上の 8 項目を予定している (進行状況に応じて変更の可能性もある)

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

日本救急医療財団 監修 救急蘇生法の指針 (医師用)

へるす出版

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

放射線医学

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当： 芦澤和人

長崎大学病院

工藤 崇・林 靖之

< 講義概要 >

放射線診断学を中心に放射線治療学、核医学を含めて放射線医学全般にわたって、わかりやすく解説します。

< 学生への要望 >

< 授業内容 >

1. (講義) 放射線医学とは
2. (講義) 放射線の種類と性質
3. (講義) 放射線の人体への影響
4. (講義) 放射線診断
5. (講義) インターヴェンショナルラジオロジー
6. (講義) 放射線治療
7. (講義) 核医学診断
8. 　　まとめ

< 教科書 > 青木 学 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

臨床運動学

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当：岩永隆之

専任教員

< 講義概要 >

基礎運動学・解剖学の知識と実際の運動・疾患との関係をしっかりと理解できるよう、1年次の知識を復習しながら授業に臨んで欲しい。

< 学生への要望 >

基礎運動学・解剖学の知識と実際の運動疾患との関係をしっかりと理解できるよう、1年次の知識を復習しながら授業に臨んで欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 廃用・誤用・過用症候群
2. (講義) 変形・拘縮・筋収縮・各関節の特徴
3. (講義) 臨床での患者対応
4. (講義) 関節運動の特徴
5. (講義) 各関節の運動①
6. (講義) 各関節の運動②
7. (講義) 身体各部位に発生する特有な疾患の運動学的理解
8. (演習) 視診
9. (演習) 触診、ROM・ストレッチなどの基本的治療手技
10. まとめ

< 教科書 > 嶋田智明 筋骨格系のキネシオロジー 第2版 医歯薬出版

< 参考書 > 中村隆一 基礎運動学 医歯薬出版

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

評価機器

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [40 時間]

講義	1 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

専任教員

< 講義概要 >

三次元動作解析、筋機能解析、呼気ガス分析等の評価測定器具の使用方法、活用方法を学び、自由研究、卒後研究などに活用してもらいたい。

< 学生への要望 >

時間が少ないため、各自で細かくノートをとらないと理解しにくいと思われる。

< 授業内容 >

3 グループに分かれ、同時進行で授業する。一つの分野は6回の授業とし、順次ローテーションしていく。

group A: 林、杉町 (基礎医学教室) = 筋機能解析装置(Cybex)、筋電計

group B: 賀村 (治療室) = 三次元動作解析、床反力測定

group C: 韋、岩永 (機能訓練室・装具加工室) = スパイロメーター、エアロモニタ
心電図

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

理学療法評価学Ⅲ

理学療法学科
2 学年 前期

2 単位 [40 時間]

講義	2 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：岩永隆之・韋 傳春

専任教員

< 講義概要 >

評価が的確に行われないと、その人に合った効果的な理学療法を行う事は出来ない。本授業では、障害を持つ対象者を多面的に捉えることのできるように基本的な知識と技術について学んでいく。特に評価の意義については重点的に行い、演習についても教員二人で指導していく。また、臨床の症例がイメージしやすいようにビデオ等の教材も利用する。

< 学生への要望 >

評価は理学療法の第一歩である。その第一歩を踏み間違えると、迷い道に入り込みやすい。評価学実習での反省を踏まえて正確な評価ができるよう学生同士で積極的に練習してほしい。練習の際は、実際の対象者に接するつもりで真剣に取り組むこと。評価のやり方だけでなく、その意義をしっかりと理解して欲しい。欠課をすると授業についていけなくなる可能性が高い。やむを得ず欠課した時は自主的に補っておくこと。

< 授業内容 >

1. (講義) 総論 (韋)
- 2-4. (講義) 知覚検査 (韋)
- 5-6. (講義) 反射 (韋)
7. (講義) 筋緊張 (岩永)
- 8-9. (講義) 脳神経検査 (岩永)
- 10-11. (講義) 姿勢反射 (岩永)
- 12-14. (講義) 整形疾患・痛み (岩永)
15. (講義) 協調性検査 (岩永)
- 16-17. (講義) 片麻痺機能検査 (岩永)
- 18-19. (講義) 高次脳機能検査 (韋)
20. まとめ

< 教科書 >	松澤 正	理学療法評価学 第5版	金原出版
	田崎義昭	ベッドサイドの神経の診かた	南山堂
	医療情報科学研究所	病気がみえる (vol. 7) 脳・神経	メディックメディア

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (数回の確認テストを行います。)

理学療法評価学Ⅳ

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	12 時間
実技	単位	8 時間

担当：岩永隆之・韋 傳春

専任教員

< 講義概要 >

前期に学習した内容を活かし、模擬症例を設定して評価を行う。また、臨床実習に向けて疾患別に評価内容から、そのつながり、統合と解釈を行なっていく。

< 学生への要望 >

臨床実習目である。言うまでもないが積極的、自主的に取り組んで欲しい。不明な点や技術不足なところはしっかり補って欲しい。

< 授業内容 >

- | | |
|----------------------|--------|
| 1-3. (演習) 模擬症例評価 | (岩永・韋) |
| 4-5. (講義) 模擬症例発表 | (岩永・韋) |
| 6-7. (演習) 疾患別評価まとめ | (岩永・韋) |
| 8-9. (講義) 疾患別評価まとめ発表 | (岩永・韋) |
| 10. 　　　　　　まとめ | |

< 教科書 >	松澤 正	理学療法評価学 第5版	金原出版
	田崎義昭	ベッドサイドの神経の診かた	南山堂
	中山恭秀	3日間で行う理学療法臨床評価プランニング	南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

理学療法評価学演習

理学療法学科
2 学年 前期

2 単位 [40 時間]

講義	単位	時間
実技	2 単位	40 時間

担当：岩永隆之・章 傳春

専任教員

< 講義概要 >

評価が的確に行われないと、その人に合った効果的な理学療法を行う事は出来ない。理学療法評価学Ⅲで学んだ内容、特に意義を考慮した上で、学生間で対象者を想定し演習する。演習についても教員二人で指導していく。

< 学生への要望 >

評価は頭で理解することも大切であるが、実施できるかどうかも重要である。4月には、すぐに評価学実習が実施される。十分に復習して準備することはもちろんであるが、実習後も、その反省を踏まえて正確な評価ができるように学生間でも積極的に練習して欲しい。実際の対象者に接するつもりで真剣に取り組むこと。

< 授業内容 >

1. (演習) 1年次の復習 (章)
2. (演習) 知覚検査演習 (章)
- 3-6. (実習) 評価学実習①
7. (演習) 反射検査演習 (章)
- 8-11. (実習) 評価学実習②
12. (演習) 筋緊張検査演習 (岩永)
13. (演習) 脳神経検査演習 (岩永)
14. (演習) 姿勢反射検査演習 (岩永)
- 15-16. (演習) 整形疾患・痛み検査演習 (章)
17. (演習) 協調性検査演習 (岩永)
18. (演習) 片麻痺機能検査演習 (岩永)
19. (演習) 高次脳機能検査演習 (章)
20. まとめ

< 教科書 >	松澤 正	理学療法評価学 第5版	金原出版
	田崎義昭	ベッドサイドの神経の診かた	南山堂
	中山恭秀	3日間でを行う理学療法臨床評価プランニング	南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動療法 I

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：林 勇一郎

専任教員

< 講義概要 >

運動療法を施行する上で必要な解剖学、生理学、運動学などの基礎医学を復習し、関節運動や筋収縮・筋力増強、呼吸機能、循環器機能、運動制御、運動学習などのメカニズムを学び、理解する。また本科目は運動療法Ⅱの講義や演習とも連動して、基礎的手技とメカニズムを相互の理解が到達目標となる。

< 学生への要望 >

演習を行うので実際の対象者に関わるのと同様の真剣さを持ち、また手技1つ1つの内容を深く理解するよう、心がけること。

< 授業内容 >

1. (講義) 運動療法の概念と定義
2. (講義) 運動療法の原理
3. (講義) 運動療法の基礎①
4. (講義) 運動療法の基礎②
5. (講義) 運動療法の基礎③
6. (講義) 日常生活動作の動作観察①
7. (講義) 日常生活動作の動作観察②
8. (講義) 日常生活動作の動作観察③
9. (講義) 日常生活動作の動作観察④
10. (講義) 疾患別運動療法の基礎① (骨折・靭帯損傷)
11. (講義) 疾患別運動療法の基礎② (変形性関節症①)
12. (講義) 疾患別運動療法の基礎③ (変形性関節症②)
13. (講義) 疾患別運動療法の基礎④ (疼痛疾患・腰部)
14. (講義) 疾患別運動療法の基礎⑤ (疼痛疾患・肩)
15. まとめ

< 教科書 > 細田多穂 運動療法テキスト 南江堂
臨床歩行分析研究会 姿勢・動作・歩行分析 (PT・OTビジュアルテキスト) 羊土社

< 参考書 > 石井慎一郎 動作分析 臨床活用講座 メジカルビュー社

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動療法Ⅱ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：杉町尚美

専任教員

< 講義概要 >

各種運動療法の基本的な理念と実際について学習し、最先端の運動療法への導入としたい。また、適宜、課題としてレポートを提出してもらうことにより、理解を深め、課題に取り組む姿勢に身につけてもらいたい。

< 学生への要望 >

運動療法学は解剖学、生理学そして運動学を基本として成り立つ分野である。したがって該当する科目の復習をしておくこと。演習時は実際の対象者に関わるのと同様、真剣に取り組んでほしい。身だしなみにも留意すること。課題は自分の為に充実した内容で、速やかに提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 運動療法について
2. (演習) 関節可動域運動①
3. (講義) 関節可動域運動②
4. (演習) 関節可動域運動③
5. (講義) 筋力増強運動①
6. (演習) 筋力増強運動②
7. (講義) 持久力増強運動①
8. (演習) 持久力増強運動②
9. (講義) 協調性運動①
10. (演習) 協調性運動②
11. (講義) 呼吸理学療法①
12. (演習) 呼吸理学療法②
13. (講義) 神経筋再教育
14. (講義) 水中運動療法
15. まとめ

< 教科書 > 細田多穂 運動療法学テキスト 南江堂

< 参考書 > リハビリテーション技術全書 医学書院
理学療法ハンドブック 協同医書出版
柳澤 健 理学療法学コールドマスター・テキスト2 運動療法学 ミガカルビエ社

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (小テスト)

中枢疾患運動療法 I

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当：林 勇一郎

専任教員

< 講義概要 >

脳卒中のリハビリテーションを、理学療法の観点から整理し、必要な知識と最低限の技術を身に付ける。

< 学生への要望 >

先ずは、機能解剖、病態生理が理解できていないと、患者に触れるべきではない。中枢神経障害に対する知識を十分に復習、予習した上で授業を受けてほしい。課題は、自分の為に充実した内容で、速やかに提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 脳卒中の障害総論
2. (講義) 脳の解剖、脳画像と臨床症状
3. (講義・演習) 急性期の理学療法
4. (講義・演習) 回復期の理学療法、基本動作
5. (講義・演習) 回復期の理学療法、ADL
6. (講義・演習) 回復期の理学療法、歩行
7. (演習) 嚥下障害のリハビリテーション
8. (講義) 痛み
9. (講義) 高齢者の理学療法
10. まとめ

< 教科書 > 原 寛美 他 脳卒中理学療法の理論と技術 ミジカルビュー社
潮見泰藏 ビジュアル実践リハ 脳・神経系リハビリテーション 羊土社

< 参考書 > 柳澤 健 PT学ゴールドマスターテキスト5 中枢神経系理学療法学 ミジカルビュー社
福井園彦 他 脳卒中最前線 第4版 医歯薬出版

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

中枢疾患運動療法Ⅱ

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当：岩永隆之

専任教員

< 講義概要 >

パーキンソニズムと失調症を中心に、障害像を捉えた上で、それらに対する基本的な理学療法を、講義と演習により学習する。またビデオなども用い疾患の総合的理解を深める。

< 学生への要望 >

失調症については集約した教科書がない。あらゆる参考書を利用する。各疾患のイメージを早期に作れるように着いてきて欲しい。

< 授業内容 >

パーキンソニズムの理学療法

1. (講義) パーキンソニズムの概要と分類
2. (講義) パーキンソニズムの障害の特徴
3. (講義) パーキンソニズムのリハビリテーション(大枠)について
4. (講義) パーキンソニズムへの理学療法的アプローチについて
- 5-6. (演習) 実技演習 パーキンソニズムの理学療法
7. (講義) 失調症の概要と障害分類
8. (講義) 失調症に対する特異的な訓練法について
9. (演習) 失調症の理学療法
10. まとめ

<教科書>	水野美邦	よくわかるパーキンソン病のすべて	永井書店
	潮見泰藏	ビジュアル実践の脳・神経系リハビリテーション	羊土社
	原 寛美 他	脳卒中理学療法の理論と技術	メディカルビュー社
<参考書>	吉尾雅春	標準理学療法学 運動療法学各論	医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

内部疾患運動療法

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当： 鋤崎利貴

長崎大学病院リハビリテーション部

< 講義概要 >

内部疾患による障害は外見では判らないためか、重視されにくい。しかし疾患によっては、生命の危機に及ぶものもある。理学療法士にとって対象疾患になる場合はこれまで少なかったかもしれないが、最近では注目されつつある。病態を理解したうえで、理学療法プログラムを組み立てる。

< 学生への要望 >

まずは、出席すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 呼吸器系の構造及び疾患
2. (講義) 呼吸器系の理学療法①
3. (講義) 呼吸器系の理学療法②
4. (講義) 呼吸器系の理学療法③
5. (講義) 循環器系の構造及び疾患
6. (講義) 循環器系の理学療法
7. (講義) 授業内容の復習①
8. (講義) 糖尿病について
9. (講義) 腎機能障害について
10. まとめ

< 教科書 > 吉尾雅春 標準理学療法学 運動療法学各論 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

神経筋疾患運動療法

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当：杉町尚美

専任教員

< 講義概要 >

代表的な神経筋疾患の特徴を理解し、各疾患の病態に基づいた適切な理学療法の検査・測定、リスク管理、評価および治療プログラム立案までの過程を学習する。

< 学生への要望 >

各疾患の特徴を理解し、疾患のイメージを早期に作れるようにしてほしい。

< 授業内容 >

- 1-2. (講義) 総論 神経筋疾患の概要
3. (講義) 筋萎縮性側索硬化症の特徴と理学療法
4. (講義) 多発性硬化症の特徴と理学療法
5. (講義) ギランバレー症候群の特徴と理学療法
6. (講義) 末梢神経損傷の理学療法
7. (講義) 筋ジストロフィーの特徴と理学療法
- 8-9. (演習) 神経筋疾患の運動療法
10. まとめ

< 教科書 > 潮見泰藏 ビジュアル実践リハ 脳・神経系リハビリテーション 羊土社

< 参考書 > 吉尾雅春 標準理学療法学 理学療法学各論 医学書院
岡庭 豊 病気がみえる Vol.7 脳・神経 ディックデイ

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

小児疾患運動療法

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当：浦川純二

長崎県島原病院リハビリテーション科

< 講義概要 >

脳性麻痺など発達障害を中心に小児整形疾患に対する理解を深め、理学療法評価および運動療法の基礎的概念を概説する。発達については反射・反応・姿勢・運動などの変化の意味合いを理解し、認知や社会面などの発達との関連にも触れながら講義を進める。事例を通して、障害のある子供と家族に対する理学療法の役割を知る。また、小児疾患を取り巻く医療・福祉・教育・就労などの社会的側面にも触れ、理学療法を展開する上での課題を捉える視点も学ぶ。小児に接するレディネス修得を目標にする。

< 学生への要望 >

臨床像の把握、典型的な治療例については、画像、VTR等の視聴覚教材を多用するため、動作分析や記録方法については復習しておくこと。

< 授業内容 >

1. (講義) 小児理学療法総論
2. (講義) 運動発達に関する反射、反応
3. (講義) 運動発達 (実習: 反射・反応評価)
4. (講義) 脳性麻痺の障害像
5. (講義) 脳性麻痺に対する理学療法評価 1
6. (講義) 脳性麻痺に対する理学療法評価 2 (実習: 筋緊張・典型例動作分析・ハンドリング)
7. (講義) 脳性麻痺に対する理学療法 1
8. (講義) 脳性麻痺に対する理学療法 2
9. (講義) その他の小児疾患に対する理学療法
10. まとめ

< 教科書 > 細田多穂・監 ｼﾝﾌﾟﾙPPT学ｼﾘｰｽﾞ 小児理学療法テキスト 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他: ()

整形疾患運動療法

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [20 時間]

講義	1 単位	20 時間
実技	単位	時間

担当： 山内 満

専任教員

< 講義概要 >

代表的な整形疾患について、理学療法の組み立て方について考えていく。また理学療法施行時の注意点、リスク管理についても考えていく。

< 学生への要望 >

一つ一つのプログラムの意義を考えて、患者に合ったプログラムを選択できるようになってほしい。また疾患別のリスク管理についても、しっかり学習してほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 骨性障害 (大腿骨頸部骨折, 転子部骨折・他)
2. (演習) 骨性障害に対する運動療法
3. (講義) 骨・軟骨障害 (変形性股関節症, 変形性膝関節症・他)
4. (演習) 骨・軟骨障害に対する運動療法
5. (講義) 筋・軟部組織性障害 (肩関節周囲炎, 肩腱板損傷・他)
6. (演習) 筋・軟部組織性障害に対する運動療法
7. (講義) 複合障害 (関節リウマチ・他)
8. (講義) 脊椎性障害 (腰部脊柱管狭窄症, 腰椎椎間板ヘルニア・他)
9. (演習) 複合障害・脊椎性障害に対する運動療法
- 10 　　まとめ

< 教科書 > 林 典雄・他 整形外科運動療法ナビゲーション (上肢・体幹) メジカルビュー社
林 典雄・他 整形外科運動療法ナビゲーション (下肢) メジカルビュー社

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

物理療法Ⅱ

理学療法学科
2 学年 前期

2 単位 [60 時間]

講義	2 単位	60 時間
実技	単位	時間

担当：杉町尚美・山内 満

専任教員

< 講義概要 >

1 学年で学習した温熱療法、寒冷療法を復習し、それ以外の療法に加え、物理療法について必要な生理学的基礎知識、リスク管理、機器の管理について学習・体験する。物理療法を通して臨床に必要な態度を養う。

< 学生への要望 >

各自でノートを取り、理解を深めること。実習・実験では探究心を発揮して、他科目で学習したことと関連させて深く考察してほしい。

< 授業内容 >

- | | | |
|--------|---------------------------------|---------|
| 1-2. | (講義) 温熱療法、寒冷療法の復習 | (杉町) |
| 3-4. | (講義) 痛みの病態生理学① | (山内) |
| 5-6. | (講義) 痛みの病態生理学② | (山内) |
| 7-8. | (講義) 超音波療法 | (山内) |
| 9-10. | (講義) 牽引療法、マッサージ療法 | (山内) |
| 11-12. | (講義) 電気療法、原理と生理学的作用 | (杉町) |
| 13-14. | (演習) 電気療法の実際 | (杉町) |
| 15. | (講義) 水治療法、水中運動療法：水の物理的特性と生理学的作用 | (杉町) |
| 16-17. | (演習) 水治療法：実際 | (杉町・山内) |
| 18-19. | (演習) 物理療法総合演習 | (杉町・山内) |
| 20-21. | (演習) 実験① | (杉町・山内) |
| 22-23. | (演習) 実験② | (杉町・山内) |
| 24-25. | (演習) 実験③ | (杉町・山内) |
| 26-27. | (演習) 実験まとめ発表 | (杉町・山内) |
| 28-29. | (演習) 物理療法機器取り扱いのまとめ | (杉町・山内) |
| 30. | まとめ | |

< 教科書 > 蜂須賀 研二 服部リハビリテーション技術全書 医学書院
網本 和 標準理学療法学 物理療法学 第4版 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

義肢装具学 I

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：章 傳春

専任教員

< 講義概要 >

義肢装具は装着すべき部位・装具の型・材質・継手の種類とたくさんの項目の中から患者に合ったものを処方しなければならない。この科目では実際に装具を製作したり、装着体験しながらその理論と適切な選択を学んでほしい。

< 学生への要望 >

実習の材料費はその都度集金します。

< 授業内容 >

1. (講義) 装具総論
2. (講義) 靴型装具
3. (演習) 靴型装具装着体験
- 4-6. (演習) 足底板製作
7. (演習) 疾患別靴型装具
- 8-9. (講義) 体幹装具
10. (演習) 体幹装具装着体験
- 11-13. (講義) 下肢装具
14. (演習) 下肢装具装着体験
15. まとめ

< 教科書 > 加倉井周一 義肢装具のチェックポイント 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

義肢装具学Ⅱ

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 韋 傳春

専任教員

< 講義概要 >

義肢装具は装着すべき部位・装具の型・材質・継手の種類とたくさんの項目の中から患者に合ったものを処方しなければならない。この科目では実際に装具を製作したり、装着体験しながらその理論と適切な選択を学んでほしい。

< 学生への要望 >

実習の材料費はその都度集金します。

< 授業内容 >

- 1-5. (実習) プラスチック短下肢装具製作
- 6-7. (講義) 上肢装具
- 8-14. (講義) 義肢学
- 14. (実習) 義足装着体験
- 15. まとめ

< 教科書 > 加倉井周一 義肢装具のチェックポイント 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

日常生活活動Ⅱ

理学療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 韋 傳春・杉町尚美

専任教員

< 講義概要 >

1 年次で学んだ日常生活活動の概要を踏まえ、整形疾患、中枢疾患の特徴に応じた日常生活動作について学び、正常と異常を比較した動作分析を行なう。

< 学生への要望 >

聞く講義ではなく、考えて理解し、積極的に実技にも参加して欲しい。グループワークでも積極的に行動して欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 日常生活活動 総論 (1年次の確認) (韋・杉町)
2. (演習) グループワーク (韋・杉町)
3. (演習) グループ発表 (韋・杉町)
4. (講義) 整形疾患の日常生活活動① (韋・杉町)
5. (講義) 整形疾患の日常生活活動② (韋・杉町)
6. (講義) 中枢疾患の日常生活活動① (韋・杉町)
7. (講義) 中枢疾患の日常生活活動② (韋・杉町)
- 8-10. (演習) グループワーク (韋・杉町)
- 11-12. (演習) グループ発表 (韋・杉町)
13. (講義) 動作分析① (韋・杉町)
14. (講義) 動作分析② (韋・杉町)
15. まとめ

< 教科書 > 鶴見 隆正 他 日常生活活動学・生活環境学 医学書院
奈良 勲 他 標準理学療法学 臨床動作分析 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

総合学習 I

理学療法学科
2 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

< 講義概要 >

3 学年の理学療法研究へ繋げる準備段階的位置づけである。文献抄読を通し、新しい知識に触れるとともに、1 学年で学習した研究方法をより理解することに繋げる。また、国家試験に向けた準備の仕方について学ぶ。

< 学生への要望 >

文献抄読ではタイトルと要約(Abstract)を繰り返し読み、概要を理解してから内容を読むようにしてほしい。自ら探究心を持って取り組んでほしい。国家試験問題に触れ、自己の明確な到達目標を立ててほしい。

< 授業内容 >

- ・興味があり、学習したい分野、治療法などを決める。
- ・文献検索する。
- ・いくつかの文献から得られた情報を要約する。
- ・文献抄読会を経験する。
- ・国家試験への対策を知る。

< 教科書 > PT学学会 国試の達人PT・OT 2018年 運動解剖生理学編 アイペック
PT学学会 国試の達人PT・OT 2018年 臨床医学編 アイペック

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

地域リハビリテーション

理学療法学科
2 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：賀村 肇

専任教員

< 講義概要 >

患者・対象者のリハビリテーションにおいて、救急医療から終末医療にいたるまでの一貫した流れの中で、その方のQOLを踏まえながら一貫した、しかしフレキシビリティのある支援システムが不可欠である事は言うまでもない。中でも医療システムから卒業して家庭に復帰した後の期間を考えると、地域リハビリテーションは専門職として欠かすことのできない領域である。講義ではその流れをイメージし、広い見地から考えることができるよう、最新のトピックを交えながら講義を行っていく。

< 学生への要望 >

グループワークや作業などを行うので、積極的にディスカッションに参加すること。

< 授業内容 >

- 1-2. (講義) 地域リハビリテーションの歴史
3. (講義) 日本における地域リハビリテーションの現状
4. (講義) 世界の地域リハビリテーションの現状
- 5-6. (講義) 地域リハビリテーションの考えと定義
7. (講義) 地域リハビリテーション医療の流れ
- 8-10. (講義) 地域リハビリテーションの諸サービス
- 11-12. (講義) 介護保険の成り立ち
- 13-14. (講義) 介護保険サービスと考え方
15. (講義) 地域リハビリテーションの課題と展望

< 教科書 > 大田仁史 他 地域リハビリテーション論Ver6 三輪書店

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

生活環境論

理学療法学科
2 学年 後期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：賀村 肇

専任教員

< 講義概要 >

日常生活活動の内容を踏まえ、応用編として障害者の生活環境・周辺環境を疾患別に、具体的な改善策や工夫などを提示できるように、考察していく。

< 学生への要望 >

グループワークや作業などを行なうので、各自の役割を把握し、ディスカッションしながら積極的に参加すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 生活環境の変遷
2. (講義) QOLとは
3. (講義) 生活環境における経済
4. (講義) 日本人の生活様式とその変化
5. (講義) 日本の高齢者の生活実態
- 6-7. (講義) 居住環境 (家屋と近隣の環境)
- 8-9. (演習) 障害別の生活環境-片麻痺
- 10-11. (演習) 障害別の生活環境-リウマチ
- 12-13. (演習) 障害別の生活環境-脊髄損傷
14. (講義) 高齢者の住宅生活とサービス
15. まとめ

< 教科書 > 鶴見隆正 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (グループへの貢献度)

臨床実習 I

理学療法学科
2 学年 後期

5 単位 [240 時間]

講義	単位	時間
実技	5 単位	240 時間

担当：

< 講義概要 >

本実習は、理学療法の評価・治療に関する基本的な知識および技術が育まれた後に実施する。模倣体験を通して、理学療法を行う上で必要な評価・治療に関する技術を深めていく。また、医療人として求められる態度を理解し、責任感を持って行動できることを目的とする。

< 学生への要望 >

臨床での教育は理学療法士、作業療法士という専門職を目指す学生にとって貴重な経験だが、その場は対象者の方々の協力と先輩である専門職の方々の好意によって提供されていることを認識しておきたい。

< 授業内容 >

(演習) 実習オリエンテーション

(実習) 2週間

目標：学内で理学療法の評価方法に関する基本的な知識および技術を修得していることから、実際の対象者で適切な評価方法を見学・模倣・実践の流れで段階的に体験する。

1. 理学療法士の役割と責任について理解し、自覚を持った行動がとれる。
2. 模倣体験においては、適切な力の入れ方や身体の使い方を学び、さらに模倣した行為が対象者にどのような意義があるのか学習する。
3. 対象者に関する情報を収集することができる。
4. 対象者の状態に即した検査・測定を列挙することができる。
5. 安全に配慮し、検査・測定を行なうことができる。

(演習) 課題提出と実習報告会

(演習) 実習オリエンテーション

(実習) 4週間

目標：同上

- 1-5. 同上
6. 収集した情報を分析・統合・解釈ができ、対象者の全体像を把握することができる。
7. 可能であれば、対象者に応じた目標設定と理学療法プログラムを立案できる。

(演習) 課題提出と実習報告会

< 教科書 >	岡田慎一郎	理学療法臨床実習サポートブック	医学書院
	椿原彰夫	PTOTのための臨床実習で役立つ リハビリテーション基本技術	診断と治療社

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

理学療法研究

理学療法学科
3 学年 後期

1 単位 [40 時間]

講義	1 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

< 講義概要 >

学生個人で症例研究論文を作り上げる。症例研究を行なうためには3年間で学んだ総合的な知識と文献等を用いた深い考察が必要である。臨床実習での症例への関わりや学んだことを振り返りながら、文献等を参考に視野を広げ、より高度な知識や技術を追求する姿勢を養って欲しい。臨床実習で経験した症例を元に、3年間で知識と文献等を用いてその内容を深め、将来の臨床活動に繋がるような知識、視野、考察力を身につけるべく、論文を作り上げる。

< 学生への要望 >

限られた時間で研究を進めるために、担当教員との連絡を密に行いながら、計画的かつ積極的に取り組んでもらいたい。

< 授業内容 >

- ・研究の方法や内容については各担当教員と相談しながらすすめる。
- ・適切な文献等を集め、専門的な視点から考察を行う。
- ・完成した症例研究論文は査読による評価を行う。

< 教科書 >

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

総合治療論

理学療法学科
3 学年 前期

2 単位 [40 時間]

講義	2 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：

< 講義概要 >

3年次の臨床実習にむけて、これまで学習してきた基礎的知識や専門的知識を再確認し、臨床場面で必要とされる具体的な専門知識や技術を習得する機会とする。

< 学生への要望 >

臨床実習の前に幅広い知識や技術を備えておくために積極的に講義に臨んでもらいたい。

< 授業内容 >

- ・嚥下障害・構音障害・失語症の評価と治療
- ・経過記録の書き方
- ・発達障害のリハビリテーション
- ・心疾患のリハビリテーション
- ・検査画像の見方
- ・介護老人保健施設でのセラピストの役割
- ・認知症患者への評価と関わり方
- ・手の外科領域の後療法
- ・訪問リハビリテーションの現状
- ・PTOTが知っておくべき薬の知識
- ・脊髄損傷のリハビリテーション
- ・関節モビライゼーションの基本と整形疾患への応用
- ・神経筋促通法の基本、実践、応用
- ・歩行分析からみた整形疾患の評価と治療
- ・腰痛の評価と治療
- ・臨床上における運動学
- ・レジュメの書き方
- ・中枢疾患の評価と治療
- ・コミュニケーションについて
- ・ROM・ストレッチ・神経筋促通法の基礎
- ・整形疾患の理学療法
- ・高次脳機能障害について
- ・臨床実習指導者の立場から
- ・救命講習
- ・臨床体験

< 教科書 >

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

総合学習Ⅱ

理学療法学科
3 学年 後期
担当：

2 単位 [80 時間]

講義	2 単位	80 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

国家試験で必要とされる知識について、繰り返し学習する機会を設け、知識の整理と理解を促す。また、模擬試験等を活用し、より実践的な環境の下で時間配分や集中力の持続など国家試験に向けた準備性を構築していく。

< 学生への要望 >

国家試験に直結する知識であり、積極的に不足している知識の獲得に努めること。

< 授業内容 >

- ・病理学
- ・生理学
- ・脊髄損傷
- ・発達障害
- ・運動学
- ・統計学
- ・介護保険/法律関係
- ・整形外科学
- ・臨床心理学
- ・精神医学
- ・義肢装具学
- ・疾患別-神経偏-
- ・疾患別-CVA偏-
- ・疾患別-整形偏-
- ・疾患別-小児偏-
- ・ADL
- ・物理療法
- ・理学療法評価学
まとめ

< 教科書 >

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

臨床実習Ⅱ

理学療法学科
3 学年 前期

14 単位 [640 時間]

講義	単位	時間
実技	14 単位	640 時間

担当：

< 講義概要 >

本実習は、臨床実習施設における実際の臨床場面の体験を通して、対象者が個としての人間であることを認識し、社会人・専門職としての資質を養うことを目的とする。

臨床実習教育の手引き（第5版）より理学療法教育の到達目標は、「基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと遂行できるレベル」と示している。この到達目標から、臨床実習の教育目標を考えた場合、基礎的能力をしっかりと経験させることが必要であると考えられる。

< 学生への要望 >

臨床での教育は理学療法士、作業療法士という専門職を目指す学生にとって貴重な経験だが、その場は対象者の方々の協力と先輩である専門職の方々の好意によって提供されていることを認識しておきたい。

< 授業内容 >

(演習) 実習オリエンテーション

(実習) 8週間

目標：「治療指向的な統合と解釈ができる」「目標設定および治療計画の立案ができる」

1. 対象者に対する全般的な安全への配慮を学ぶ。
2. 理学療法実施上の倫理的・法的責任への理解を深める。
3. 適切な理学療法評価を行い、統合解釈し、問題・課題を把握する。
4. 問題・課題に対して適切な理学療法プログラムを立案する。
5. 作業療法プログラムに基づいて、基本的な理学療法技術を実施する。
6. 治療効果を検証し、それに基づいたプログラムの確認と修正を行う。
7. その他(施設および理学療法部門の組織・機構・管理・運営の理解、チームワークの重要性の理解など)

(演習) 課題提出と症例発表会

(実習) 8週間

目標：「自らが立案した治療の実践を通して、その経過に関する主体的な考察が行える」

1～7. 同上

(演習) 課題提出と症例発表会

< 教科書 > 嶋田智明 ケースで学ぶ理学療法臨床思考 文光堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

心理学

作業療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：大徳朋子

医療法人青嶺会 わたなベクリニック

< 講義概要 >

心理学とは何か全般を半期かけて解き、心理学のイメージを再構成していく。心理学全般を広く解説し、テキスト、ビデオを用いる。

< 学生への要望 >

心理学について知ること、自分の周囲の人の心の動きに興味を持ってもらえたらと思います。

< 授業内容 >

1. (講義) 心理学とは
2. (講義) 感覚と知覚
3. (講義) 感情と要求
4. (講義) 思考と言語
5. (講義) 学習心理学
6. (講義) 発達心理学 I
7. (講義) 発達心理学 II
8. (講義) 社会心理学 I
9. (講義) 社会心理学 II
10. (講義) 人格心理学 I
11. (講義) 人格心理学 II
12. (講義) 臨床心理学 I
13. (講義) 臨床心理学 II
14. まとめ I
15. まとめ II

< 教科書 > 長尾 博 心理学-心と行動の科学- (資料)

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

教育学

作業療法学科

1 学年 前期

担当：久富和幸

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

新しい動向と資料をもとに、家庭教育、学校教育、社会教育、特別支援教育等について学習をする。

< 学生への要望 >

教育についての知識を得て、自分自身の学習に対する構えを正しいものにし、やがて社会人・家庭人として教育にあたる時の基礎として欲しい。勿論、目指している仕事の内容や患者の心に寄り添うためにも講義に積極的に参加し、授業の中で内容を理解するように努力すること。テキストをよく読んで活用して欲しい。

< 授業内容 >

- | | | |
|-------------------|------------------------------------|----------------|
| 1. (講義) 「教育学とは」 | (1) 人類の誕生と教育
(2) 人間の成長と教育題 | 第 1 章 |
| 2. (講義) 「家庭教育」 | (1) 子どもの社会化と家庭教育
(2) 現代の家庭と教育問題 | 第 2 章 |
| 3. (講義) 「学校教育制度」 | (1) 各国の学校教育制度
(2) わが国の学校制度と動向 | 第 4 章
第 5 章 |
| 4. (講義) 「学習指導と評価」 | (1) 学習指導の原理
(2) 教育評価の方法 | 第 6 章
第 8 章 |
| 5. (講義) 「生徒指導」 | (1) 教科以外の領域
(2) 生徒指導と実際 | 第 7 章 |
| 6. (講義) 「特別支援教育」 | (1) 心身障害者の概念
(2) 障害に応じた教育 | 第 9 章 |
| 7. (講義) 「生涯学習」 | (1) 生涯学習の概念
(2) 社会教育とその施設 | 第 3 章 |
| 8. 「その他、学習のまとめ」 | | |

< 教科書 > 木村 元 系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院

< 参考書 > 長崎医療技術専門学校 平成29年度 生徒便覧

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

法学

作業療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：福崎龍馬

弁護士法人ふくざき法律事務所

< 講義概要 >

以下のテーマを法学の観点から講義する。①患者や高齢者・障害者などの医療や福祉を享受する人たちの人権（権利や利益）②法的な観点からみた医療や福祉の問題点 ③その他関連するテーマ

< 学生への要望 >

医療や福祉の領域における患者や高齢者・障害者の人権について、学問的に論議されている内容や現場で実践されている内容等に関する認識や知識を深めて欲しい。

< 授業内容 >

医療の世界における「医の倫理」の歴史を確認し、その上に発展してきたインフォームド・コンセントに関する知識や認識を深め、その背景をなす患者等の自己決定権の意味するもの、日本国憲法上の自己決定権の位置付け等を学び、その他密接に関連する現代的テーマとしての「尊厳死」「安楽死」「臓器移植」「生殖補助医療」等について議論し検討する。

1. (講義) バイオエシックスとは？
医学の進歩に追いつかない法律や法秩序（人工生殖子と生殖補助医療の許容性）
- 2-3. (講義) 歴史からみた“医の倫理”
4. (講義) 日本国憲法の下における医療と福祉
- 5-8. (講義) インフォームド・コンセント
9. (講義) 看護師の業務とその責任
10. (講義) 介護・介助に関する事故（医療事故における医療者の責任）
11. (講義) 診療記録の医療訴訟上の証明力（診療記録の訴訟上での取り扱い方）
12. (講義) 介護サービスとインフォームド・コンセント
13. (講義) 脳死と臓器移植法
14. (講義) 終末期医療（尊厳死と安楽死）
15. まとめ

< 教科書 > 福崎博孝・他 医療の倫理 福崎法律事務

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他：（ ）

物理学

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：岩永 浩

< 講義概要 >

物理学は、ものの見方・考え方を学ぶ学問であるということを主眼にして、講義をすすめていきます。身近に起こる何気ない現象も、物理的な見方をすることで、新たな感動が生まれることを体験して欲しいと思います。講義の内容は力学、熱、光の性質、電気に関するもので、身の回りの現象を取り上げ、なるべく演示実験も行いますので理解を深めてください。

< 学生への要望 >

高校で物理を学んでいない人が多いのかと思われますので、基礎からわかりやすく説明します。物理は積み重ねが必要な学問ですので、できればその日のうちに10分でも良いので必ず復習してください。計算や実験結果などのレポートには色鉛筆なども用いて丁寧に書いてください。

< 授業内容 >

力学、熱、光、電気に関してはできるだけ医療機器に即した内容で演示実験を含めた授業をプリントを用いて行う。

- 1-2. (講義) 力学：慣性・作用反作用、力のモーメントの定義とその応用について説明する。特に作用反作用とテコの原理と人体のテコに関しては詳しく行う。
- 3-4. (講義) 光：反射、屈折、分散や全反射による光ファイバーを用いた胃カメラや赤外線発光ダイオードを用いたパルスオキシメーターなどの医療機器への物理的内容について説明する。
- 5-6. (講義) 熱：物質の状態変化、伝導、対流、放射、膨脹などの熱現象を理解し、応用としての水銀温度計と電子体温計、耳式体温計の原理を理解する。
7. (講義) 電気：電圧、電流、抵抗、電力についての定義。直流の乾電池と家庭に來ている交流電源の違いとその働きについて理解する。赤外線、紫外線、X線など電磁波やCT、MRIなどの医療機器に用いられている用語とその内容について理解する。講義全体のまとめを行い、試験問題の内容についても解説する。
8. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

佐藤孝一・他

医療系のための物理

東京数学社

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他：(ノートを購入して、それによくメモし、まとめる。)

医療統計学

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：木下 恵

< 講義概要 >

1. 情報処理の基礎1) 日本語入力、2) MS WORDの基礎、3) MS EXCELの基礎と統計関数
2. 統計学1) 基本的な統計量、2) 統計的推定、3) 仮説検定、4) 単回帰分布

< 学生への要望 >

- 1) 講義開始時に学ぶ基本的な統計用語を確実に理解し記憶すること。2) わからないことをそのままにせず、最初から地道に知識と技術の習得に努めること。

< 授業内容 >

1. (講義) MS WORD, 度数分布とヒストグラム
2. (講義) MS WORD, 母集団とサンプル 統計量 平均値、標本標準偏差、標本分散
3. (講義) MS EXCEL, 正規分布と標準化定理
4. (講義) MS EXCEL, 統計分布と確率計算 標本が得られる確率
5. (講義) MS EXCEL, 標本分散と t 分布
6. (講義) MS EXCEL, 信頼区間
7. (講義) 検定の考え方
8. (講義) 平均値の検定と検定の手順
9. (講義) 正規分布の検定
10. (講義) 一標本の平均値の検定
11. (講義) 二標本の平均値の検定 (1)
12. (講義) 二標本の平均値の検定 (2)
13. (演習) 相関係数、単回帰分析
14. (演習) 分割表の検定
15. まとめ

< 教科書 > 中村 剛 新版 統計科学入門
講師作成のプリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (随時実施する演習)

研究方法論

作業療法学科
1 学年 後期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

< 講義概要 >

研究とは何か、研究の本質や必要性、論文の書き方を学ぶ。さらに提示されたテーマを基に実験や検証を行い、結果をまとめ報告する。

< 学生への要望 >

論文を読むことは臨床上、自らの知識や技術を深めるために大切なことです。わからない用語は調べ、きちんと内容を理解できるようにして下さい。また、前期に習得した医療統計学を復習し、演習に活用できるようにして下さい。

< 授業内容 >

1. (講義) 研究とは何か、研究の流れを理解する。 (下村)
論文の読み方、書式を学ぶ。
研究デザインに必要な知識を学ぶ。
2. (講義) 統計手法の概略を理解する。 (賀村)
- 3-14. (演習) テーマに沿った実験、検証を実施し、結果の集約について学ぶ。 (専任教員)
研究内容を深めるための参考文献の使い方を学ぶ。
レジュメ、パワーポイント資料の作成方法を知る。
研究結果を学会形式で発表することを体験する。
15. まとめ

< 教科書 > 千住秀明・他 はじめての研究法—コメディカルの研究法入門 神陵文庫

< 参考書 > 標準作業療法学 作業療法研究 医学書院
鎌倉矩子 作業療法士のための研究法入門 三輪書店

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (活動状況)

医学英語

作業療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 小路武彦

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

医学生物学分野において、特集記事として記載された短文でまとめた内容をもつ英文のコピーを教科書として用い、実践的な英文読解力を身に付けることを目的とする。毎回異なるトピックスを扱うので医療現場での、最近の話題にも親しんでいただく。

< 学生への要望 >

予習と復習は、外国語の学習にとって必須である。特に専門用語はある程度暗記していただく必要があります。各トピックスは日常生活でも役立つ内容なので是非興味をもって取り組んで頂きたい。

< 授業内容 >

具体的には、色々なトピックスについての説明文を毎回の授業の際に配布するので、次週までに予習していただく。辞書類は毎回持参すること、授業中は、指名により文章の一部について音読と日本語訳を個々に行ってもらい、その内容を訂正あるいは補足説明する形式で授業を進める。更に各トピックスが扱う内容そのものに関しても若干の専門的解説を加える予定である。

トピックスとして予定しているものは、・・・1. Cloning of Humans, 2. The Harm Done by Acid Rain, 3. Shin Cancer on the Rise, 4. Weight Loss the Healthy Way, 5. Carbon Monoxide: A Deadly Poison, 6. Photochemical Smog Can Kill, 7. The Most Often Asked Questions About Tobacco and Health, 8. Urinary Tract Infections Require Attention, 9. You Can Avoid Osteoporosis, 10. Melatonin, Endocrine-Disrupting, 11. Contaminants, 12. Preventing Birth Defects, 13. Organs for Transplant, 14. Bioweapons, 15. Antibiotics, 16. Preventing Transmission of STDs, 17. Prevention of Cancer, 18. Tobacco and Alcohol Use, 19. The Theory of Evolution 等といった内容（いずれも S. S. Mader 著の Human Biology から抜粋）である。

1. (講義) トピックス1
2. (講義) トピックス2
3. (講義) トピックス3
4. (講義) トピックス4
5. (講義) トピックス5
6. (講義) トピックス6
7. (講義) トピックス7-8
8. (講義) トピックス9
9. (講義) トピックス10
10. (講義) トピックス11-12
11. (講義) トピックス13-14
12. (講義) トピックス15-16
13. (講義) トピックス17-18
14. (講義) トピックス19
15. まとめ

< 教科書 >

英和中辞典
テキスト配布

研究社

< 参考書 >

英和大辞典

研究社

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： (単元ごとに、確認テストを行う)

文章表現法

作業療法学科
1 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：岩下真澄

活水女子大学文学部

< 講義概要 >

「わかりやすい文章を書く」ことは技術である。技術は理論を知り、練習を繰り返すことで身につけることができる。この授業では、学校生活だけでなく社会に出て仕事を始めてからも役に立つ、文章を書く技術を学ぶ。

< 学生への要望 >

「作文」と「レポート」は別物である。作文に対する苦手意識を捨て、新たな気持ちで授業に挑んでほしい。次回の授業までにその日の授業で使った資料やテキストの該当箇所をもう一度読んで復習しておくこと。
課題は必ず提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) オリエンテーション
2. (講義) 文章の基本
3. (講義) 文書を書く前に大切なこと
4. (講義) 論理的に書くために必要なルール
5. (講義) よいレポートの条件
6. (講義) 専門別の書き方
7. (講義) 事例報告の書き方
8. (講義) 症例レポートの書き方
9. (講義) 読みやすいレポートにする工夫 (1)
10. (講義) 読みやすいレポートにする工夫 (2)
11. (講義) 読みやすいレポートにする工夫 (3)
12. (講義) 情報の読み取りと文章化
13. (講義) よりよい文にするための注意点
14. (講義) 推敲・校正のしかた
15. まとめ

< 教科書 > 高谷 修 PT・OT学生の文章力を育てる！レポートの書き方 金芳堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

コミュニケーション学

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 牧山美穂・荒木一博
杉町尚美

専任教員

< 講義概要 >

人と接する際には、まず自分の特性を知ること、他者の対人パターンの在り方を理解することが大切である。その上でコミュニケーションを取る時に必要となる基本的なマナーやコミュニケーションスキルについて学習する。

< 学生への要望 >

積極的に学ぶ姿勢を持つ。

< 授業内容 >

1. (講義) コミュニケーションとは (杉町)
2. (講義) 自己概念及び自己評価① (牧山)
3. (講義) 自己概念及び自己評価② (牧山)
4. (講義) 効果的なコミュニケーションスキル① (牧山)
5. (講義) 効果的なコミュニケーションスキル② (荒木)
6. (講義) 社会人のマナーとしてのコミュニケーション① (牧山)
7. (講義) 社会人のマナーとしてのコミュニケーション② (牧山)
8. (講義) 臨床で役に立つコミュニケーション① (荒木)
9. (講義) 臨床で役に立つコミュニケーション② (牧山)
- 10-11. (講義) 表現方法①② (牧山・荒木)
- 12-14. (講義) ディベート (杉町)
15. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

澤 俊二	コミュニケーションスキルの磨き方	医歯薬出版
Philip Burnard	保健医療職のための伝える技術 伝わる技術	医学書院
山口美和	PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド	医学書院

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： (

)

解剖学 I

作業療法学科
1 学年 前期

2 単位 [60 時間]

講義	2 単位	60 時間
実技	単位	時間

担当： 分部哲秋

校長

賀村 肇・林 勇一郎

専任教員

< 講義概要 >

正常な人体の形態と構造について、肉眼解剖学の立場から解説する。

< 学生への要望 >

解剖学は医学の最も基礎的な分野であり、専門科目を学ぶ上に不可欠である。多くの量を学ぶことになるが、毎日の積み重ねで克服できるものであり、努力に勝る道はないと考えて欲しい。

< 授業内容 >

1-4. (講義)解剖学概論①-④	(分部)	23-24. (講義)心臓①-②	(分部)
5. (講義)骨学総論	(賀村)	25-27. (講義)動脈系①-③	(分部)
6. (講義)骨系(脊柱・胸部)	(賀村)	28-29. (講義)静脈系①-②	(分部)
7. (演習)骨系演習(脊柱・胸部)	(賀村・林)	30. (講義)リンパ系	(分部)
8. (講義)骨系(上肢帯・上肢)	(賀村)	31. まとめ	
9. (演習)骨系演習(上肢帯)①	(賀村・林)		
10. (演習)骨系演習(上肢)②	(賀村・林)		
11. (講義)骨系(下肢帯・下肢)	(賀村)		
12. (演習)骨系演習(下肢帯・下肢)①	(賀村・林)		
13. (演習)骨系演習(下肢帯・下肢)②	(賀村・林)		
14. (講義)骨系(頭蓋)	(賀村)		
15. (演習)骨系演習(頭蓋)	(賀村・林)		
16. (講義)筋系(体幹)①	(分部)		
17. (講義)筋系(体幹)②	(分部)		
18. (講義)筋系(上肢帯・上肢)	(分部)		
19. (講義)筋系(上肢)	(分部)		
20. (講義)筋系(下肢帯)	(分部)		
21. (講義)筋系(下肢)	(分部)		
22. (講義)筋系(顔面・咀嚼筋)	(分部)		

< 教科書 >	平田幸男	分冊 解剖学アトラス I・II・III	文光堂
	坂井建雄	プロメテウス解剖学 コア アトラス	医学書院

< 参考書 >	小川鼎三・他	分担 解剖学1. 2. 3	金原書店
---------	--------	---------------	------

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

解剖学Ⅱ

作業療法学科
1 学年 後期

2 単位 [60 時間]

講義	2 単位	60 時間
----	------	-------

実技	単位	時間
----	----	----

担当： 分部哲秋
佐伯和信

校長

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

解剖学Ⅰの分野に続いて、人体諸器官の正常構造を、関連する簡単な機能を含めて解説する。

< 学生への要望 >

解剖学の知識は、将来の専門的な事柄を理解するための基礎的な知識となる。先ず人の身体がどうなっているのか興味を持って欲しい。その上で、講義で出てくる解剖学用語を学生諸君自らが考えて理解していく姿勢が望ましい。

< 授業内容 >

- | | | | |
|----------|--------|---------------|------|
| (1) 内蔵学 | 1-3. | (講義) 消化器系 | (佐伯) |
| | 4-5. | (講義) 呼吸器系 | (佐伯) |
| | 6-7. | (講義) 泌尿器系 | (佐伯) |
| | 8-9. | (講義) 生殖器系 | (佐伯) |
| | 10-11. | (講義) 内分泌系 | (佐伯) |
| (2) 神経学 | 12. | (講義) 神経系の概要 | (分部) |
| | 13. | (講義) 復習 | (分部) |
| | 14-15. | (講義) 脊髄神経 | (分部) |
| | 16-17. | (講義) 脳神経 | (分部) |
| | 18. | (講義) 脳幹・小脳 | (分部) |
| | 19. | (講義) 大脳 | (分部) |
| | 20. | (講義) 脳 脊髄液・動脈 | (分部) |
| | 21. | (講義) 自律神経系 | (分部) |
| (3) 感覚器学 | 22-23. | (講義) 外皮 | (分部) |
| | 24-25. | (講義) 視覚器 | (分部) |
| | 26-27. | (講義) 平衡聴覚器 | (分部) |
| | 28-29. | (講義) 嗅覚器 | (分部) |
| | 30. | まとめ | |

< 教科書 > 藤田 恒太郎 人体解剖学 改訂第42版 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

生理学 I

作業療法学科

1 学年 前期

担当：松本逸郎

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

人体の個々の臓器は液性因子と神経因子を介して調節され、中枢神経系が統合的に支配調節することで機能が発揮する。ヒトを取り巻く外的または内的環境は絶え間なく変化するので臓器レベルに止まらず、中枢神経系の各階層でより精度の高い調節をうけ環境の変化に適応し、生体の恒常性が保たれる。本講は生理学Ⅲ(後期開講)と連動して、細胞、血液、自律神経、心臓・循環器、呼吸、体温調節について構造と機能を関連づけて生体恒常性の精妙な調節機序を学ぶ。

< 学生への要望 >

講義のプリント(パワーポイントで作成した図)を予め配布するので、予習しておくこと。分からないことがあれば、講義中でも終了後でも良いので質問すること。各々の講義の最後に小テスト問題を提示するので、解答を提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 細胞 I : 細胞の構造、細胞内液と細胞外液の組成、電解質濃度、浸透圧、pH
2. (講義) 細胞 II : 細胞膜と膜電位、イオンチャンネル、静止電位、脱分極電位と過分極電位
3. (講義) 血液 I : 赤血球、白血球、血小板、骨髄幹細胞
4. (講義) 血液 II : 血漿、血漿蛋白、凝固と線溶、血液型
5. (講義) 自律神経 I : 交感神経系、副交感神経系
6. (講義) 自律神経 II : 自律神経系による内臓機能の調節
7. (講義) 循環 I : 固有心筋、特殊心筋、心筋の電気的/機械的特性、神経による調節
8. (講義) 循環 II : 心周期、心電図、心機図 (心音、脈波、心内圧曲線)
9. (講義) 循環 III : 血管の種類と構造の特徴、肺循環と体循環 (脳、消化管、胎児)、微小循環
10. (講義) 循環 IV : 血圧の神経調節と液性調節、中枢神経系の働き
11. (講義) 呼吸 I : 肺と気管の構造
12. (講義) 呼吸 II : 呼吸運動とその調節
13. (講義) 呼吸 III : ガス交換とガス (O_2 と CO_2) の運搬
14. (講義) 体温 : 体温調節、発熱、うつ熱
15. 総括 : まとめ

< 教科書 > 林正健二 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 第4版 メディカ出版

< 参考書 > 中嶋雅実 PT OT基礎から学ぶ生理学ノート第2版 医歯薬出版
坂井建雄 系統看護学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他 : ()

生理学Ⅱ

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：土居裕和

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

本講義は、理学療法・作業療法を習得するための基礎となる、運動制御の神経制御の神経学的基礎についての理解を養うことを主たる目的としている。講義では、神経生物学の基礎事項に始まり、主に運動制御を司る神経メカニズムについて概説する。これに加え、感覚機能や、情動・思考などの高次精神機能を司る神経メカニズムについての知識を習得することで、人間の神経システムの全体像を俯瞰できるようになることを目指す。

< 学生への要望 >

< 授業内容 >

1. (講義) 筋・骨格系①
2. (講義) 筋・骨格系②
3. (講義) ニューロンの形態と機能①
4. (講義) ニューロンの形態と機能②
5. (講義) 中枢神経系① (脊髄・脳神経)
6. (講義) 中枢神経系② (脳幹・間脳・小脳)
7. (講義) 中枢神経系③ (大脳皮質・大脳辺縁系・大脳基底核)
8. (講義) 末梢神経系 (脊髄神経・自律神経)
9. (講義) 神経伝導路①
10. (講義) 神経伝導路②
11. (講義) 感覚① (体性感覚・内臓感覚)
12. (講義) 感覚② (視覚)
13. (講義) 感覚③ (聴覚・味覚・嗅覚)
14. (講義) まとめ
15. まとめ 定期試験

< 教科書 > 林正健二 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 第4版 メディカ出版

< 参考書 > 田中富久子 カラー図解はじめての生理学 上 動物機能編 ブルーバックス
坂井建雄 系統看護学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

生理学Ⅲ

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：松本逸郎

< 講義概要 >

生理学Iに続いて、より高度に調節された機能である消化・吸収、免疫、腎臓・体液、酸・塩基平衡、内分泌、加齢による代表的な機能障害の病態生理について学ぶ。

< 学生への要望 >

講義のプリント(パワーポイントで作成した図)を予め配布するので、予習しておくこと。分からないことがあれば、講義中でも終了後でも良いので質問すること。小テスト問題の解答も前期同様に随時提出すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 消化・吸収Ⅰ：消化管の運動
2. (講義) 消化・吸収Ⅱ：消化と吸収(嚥下、食道、胃、小腸、結腸、排便)
3. (講義) 肝・胆・膵：肝臓・胆嚢・膵臓の機能、消化管ホルモンによる調節
4. (講義) 免疫Ⅰ：リンパ球の働き、免疫機能
5. (講義) 免疫Ⅱ：炎症と生体防衛機能
6. (講義) 腎臓Ⅰ：ネフロン、糸球体濾過、クリアランス
7. (講義) 腎臓Ⅱ：再吸収と電解質バランス、排尿
8. (講義) 腎臓Ⅲ：血圧調節、ホルモン産生(エリスロポエチン、ビタミンD3)
9. (講義) 酸・塩基平衡：呼吸性酸塩基平衡異常、代謝性酸塩基平衡異常、肺と腎臓の代償作用
10. (講義) 内分泌Ⅰ：概論(ホルモン産生臓器、ホルモンの種類と作用機構)
11. (講義) 内分泌Ⅱ：視床下部-下垂体-甲状腺-副腎-性腺
12. (講義) 内分泌Ⅲ：成長、糖代謝、骨代謝とCa²⁺代謝、
13. (講義) 加齢Ⅰ：高血圧、心筋梗塞、貧血、腎不全の病態生理
14. (講義) 加齢Ⅱ：脳梗塞、運動障害、嚥下障害、関節症状、睡眠障害の病態生理
15. まとめ

< 教科書 > 林正健二 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 第4版 メディカ出版

< 参考書 > 中嶋雅実 PT OT基礎から学ぶ生理学ノート第2版 医歯薬出版
坂井建雄 系統看護学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動学 I

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：賀村 肇

専任教員

< 講義概要 >

人体の基本的な構造と運動の仕組みを、解剖学・生理学などの知識と共に体系的に学んでいく。

< 学生への要望 >

原則的に教科書に沿って進めるので復習を欠かさないこと。

< 授業内容 >

1. (講義) 運動の捉え方
- 2-3. (講義) 運動力学の基礎
4. (講義) 細胞と興奮伝達
5. (講義) 関節の構造と機能
- 6-7. (講義) 骨格筋の構造と機能
8. (講義) 末梢神経と自律神経
- 9-10. (講義) 中枢神経系の構造と機能
11. (講義) 反射の仕組み
12. (講義) 立ち直りと平衡感覚
13. (講義) 行為と運動プログラム
14. (講義) 感覚器の構造と機能
15. 　　まとめ

< 教科書 > 中村隆一 基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動学Ⅱ

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

前期で学んだ内容を踏まえ、四肢と体幹の運動学の講義、演習を通し、より身体の運動に対する知識を深めていく。実際に四肢、体幹の骨・筋・腱の触診ができるようにする。

< 学生への要望 >

前期履修した運動学、解剖学、生理学の内容を復習し、理解しておくこと。演習が行われる回は指定された服装を準備すること。

< 授業内容 >

1. (講義) 上肢帯の運動、筋活動
2. (講義) 肩関節の運動、筋活動
3. (演習) 上肢帯・肩関節の触診
4. (講義) 肘関節の運動、筋活動
5. (講義) 手関節の運動、筋活動
6. (演習) 肘・手関節の触診
7. (講義) 下肢帯・股関節の運動、筋活動
8. (講義) 膝・足関節の運動、筋活動
9. (演習) 下肢の触診
10. (講義) 体幹(頸部)の運動、筋活動
11. (講義) 体幹(胸部・腰部)の運動、筋活動
12. (講義) 顔面と頭部の運動、筋活動
13. (演習) 頭部・体幹の触診
14. (演習) 姿勢分析
15. まとめ

< 教科書 > 中村隆一 基礎運動学 医歯薬出版

< 参考書 > 嶋田智明 筋骨格系のキネシオロジー 医歯薬出版
石川 朗 理学療法・作業療法テキスト 運動学 中山書店

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

人間発達学

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：土田玲子

NPO法人 なごみの杜

< 講義概要 >

ヒトは受精卵から胎芽・胎児を経て出生し、成人になるまで発達していく。作業療法・理学療法を行う際に患児の発達段階の理解は必要である。

< 学生への要望 >

講義をただ聴くだけでなく各自で考えるという作業をしながら授業を進めたい。

< 授業内容 >

1. (講義) 人間発達概念など
2. (講義) 胎芽・胎児期。乳児期1
3. (講義) 乳児期2
4. (講義) 発達障がい、幼児期前期
5. (講義) 学童期1
6. (講義) 学童期2
7. (講義) 青年期
8. (講義) 成人期
9. (講義) ディスカッション
10. (講義) 高齢期1
11. (講義) 高齢期2
12. (講義) 高齢期3
13. (講義) 言語発達
14. (講義) 復習
15. 　　まとめ

< 教科書 > 福田恵美子 人間発達学 中外医学社

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

臨床心理学

作業療法学科
1 学年 後期

担当：大徳朋子

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

医療法人青嶺会 わたなベクリニック

< 講義概要 >

理学療法士・作業療法士として、心身に障害を持つ者と関わる際の関わり方を特に学ぶ。臨床心理学とは何か、その歴史、心理面接や心理テストの内容についてを特に詳しく学ぶ。

< 学生への要望 >

心の発達を知り、自分自身を振り返る機会にしてもらいたい。その上で人と関わるヒントを得てもらえればと思います。

< 授業内容 >

1. (講義) 臨床心理学とは
2. (講義) 臨床心理学の歴史
3. (講義) 人間観とパーソナリティ論①
4. (講義) 人間観とパーソナリティ論②
5. (講義) 心の発達について①
6. (講義) 心の発達について②
7. (講義) 心の発達について③
8. (講義) 心理テストについて①
9. (講義) 心理テストについて②
10. (講義) 心理面接の各種技法について①
11. (講義) 心理面接の各種技法について②
12. (講義) まとめ
13. (講義) ビデオ学習 (カウンセリング)
14. (講義) ビデオ学習 (面接)
15. まとめ

< 教科書 > 長尾 博 現代臨床心理学講座 (資料)

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

内科学 I

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：井手政利

井手内科クリニック

< 講義概要 >

内科学は臨床医学の中心となる学問である。また、リハビリテーションの対象となる患者の多くは内科疾患を合併しており、患者評価やリハビリ計画の実践にも内科全般にわたる正しい知識が必要であり、これらの点から内科学は理学療法士・作業療法士にとってきわめて重要な科目である。病態の理解を中心とした生きた知識を身につける必要がある。教科書で足りない部分はプリントで補って授業を進めている。

< 学生への要望 >

高校までの受身の学習と違い、専門学校は自ら学ぶ姿勢がきわめて重要である。内科学は範囲が広く、期末試験前の一夜漬けで期末試験を乗り切るのは困難である。また、内科学の知識は試験が終われば忘れてよい知識ではなく、臨床実習でも、さらにプロの医療職としても欠かせない基本的知識である。日頃の地道な勉強で生きた知識を身につけることが内科学学習の鉄則である。

< 授業内容 >

1. (講義) 感染症総論
2. (講義) 感染症各論1：細菌感染症等
3. (講義) 感染症各論2：ウイルス感染症等
4. (講義) 免疫系の基礎知識、アレルギー疾患
5. (講義) 膠原病
6. (講義) 膠原病、免疫不全
7. (講義) 循環器系の解剖、病態生理、症候
8. (講義) 診断法 (心電図を中心に)
9. (講義) 疾患各論 (高血圧症、冠動脈・弁膜疾患)
10. (講義) 疾患各論 (高血圧症、冠動脈・弁膜疾患)
11. (講義) 呼吸器疾患の総論的事項
12. (講義) 閉塞性肺疾患・拘束性肺疾患
13. (講義) 感染性肺疾患・腫瘍性肺疾患
14. (講義) 過去問演習による復習
15. 　　まとめ

< 教科書 > 前田眞治ほか 標準PT・OTシリーズ 内科学 第3版 医学書院
プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

整形外科学 I

作業療法学科

1 学年 後期

担当：衛藤正雄

1 単位 [30 時間]

済生会長崎病院

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

< 講義概要 >

整形外科学一般

< 学生への要望 >

授業をよく聞き、大切な個所をチェックする。

< 授業内容 >

1. (講義) 整形外科学総論 診断学
2. (講義) 整形外科学総論 治療法 (保存療法)
3. (講義) 整形外科学総論 治療法 (手術療法)
4. (講義) 整形外科学各論 軟部組織損傷
5. (講義) 整形外科学各論 骨・関節の損傷各論
6. (講義) 整形外科学各論 肩関節及び上腕の疾患
7. (講義) 整形外科学各論 肘関節及び前腕の疾患
8. (講義) 整形外科学各論 手関節及び手指の疾患
9. (講義) 整形外科学各論 手の変形と拘縮
10. (講義) 整形外科学各論 股関節及び大腿の疾患
11. (講義) 整形外科学各論 膝関節及び下腿の疾患
12. (講義) 整形外科学各論 足関節と足部の疾患
13. (講義) 整形外科学各論 脊椎外傷
14. (講義) 整形外科学各論 脊椎のその他の疾患
15. まとめ

< 教科書 > 高橋邦泰 他 整形外科学テキスト 改訂第3版 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

神経内科学 I

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：佐藤 聡・富田逸郎
瀬戸牧子・佐藤秀代

長崎北病院

< 講義概要 >

理学療法士、作業療法士として最低知っておくべき神経内科学の総論的事項の講義を行う。

< 学生への要望 >

授業を単に聞くのではなく、重要な点はノート・メモをしっかりとって欲しい。また、過去問は出題者のメッセージである。

< 授業内容 >

- | | | |
|----|--------------------------------|------|
| 総論 | 1. (講義) 中枢神経系の解剖と機能 (1) | (富田) |
| | 2. (講義) 中枢神経系の解剖と機能 (2) | (佐藤) |
| | 3. (講義) 神経学診断と評価 (1) | (佐藤) |
| | 4. (講義) 神経学診断と評価 (2) | (富田) |
| | 5. (講義) 神経学的検査法 | (富田) |
| | 6. (講義) 意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神 | (瀬戸) |
| | 7. (講義) 運動麻痺、錐体路症状、筋萎縮 | (一瀬) |
| | 8. (講義) 錐体外路症状、不随意運動、運動失調 | (富田) |
| | 9. (講義) 感覚障害、失語症 | (佐藤) |
| | 10. (講義) 失認、失行 | (富田) |
| | 11. (講義) 記憶障害、注意障害、遂行機能障害 | (福島) |
| | 12. (講義) 構音障害、嚥下障害、球麻痺、脳外科領域疾患 | (中田) |
| | 13. (講義) 知能検査、認知症 | (富田) |
| | 14. (講義) 補講 | (富田) |
| | 15. まとめ | |

< 教科書 > 奈良 勲 神経内科学 第4版 (PT・OT専門基礎分野) 医学書院

< 参考書 > 田崎義昭 ベッドサイドの神経の診かた 南山堂
神経病学

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

精神医学 I

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：早野和之

専任教員

< 講義概要 >

精神機能、精神症状および精神疾患について学習する。

< 学生への要望 >

予習・復習を行い、精神機能および障害について理解を深めてほしい。わからない用語は、本や辞書で調べる習慣を身につけてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 精神医学とは
2. (講義) 精神障害の成因と分類
- 3-4. (講義) 精神機能の障害と精神症状
5. (講義) 精神機能の障害の診断と評価
- 6-7. (講義) 器質性精神障害
- 8-9. (講義) 統合失調症
- 10-11. (講義) 気分障害
12. (講義) 心身症と神経症、ストレス関連障害
- 13-14. (講義) 精神作用物質使用による精神障害
15. (講義) まとめ

< 教科書 > 上野武治 標準PTOT学 精神医学 第4版 医学書院

< 参考書 > 太田保之・他 学生のための精神医学第3版 医歯薬出版
野村聡一郎・他 標準精神医学第6版 医学書院
長尾 博 図表で学ぶ精神保健 培風館

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

外科学

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：宮川尚孝

宮川外科医院

< 講義概要 >

外科学と内科学の違いは、主として治療手段の違いであって、扱う疾患はほとんど同じであり、近年、両者の差は非常に小さくなっている。同じ講師が内科学と外科学を担当するので、両教科の授業内容を合わせて臨床医学の概念が頭に入るように、外科学の授業は外科領域に特有の総論的なテーマを中心に学習し、各論の内容は内科学で学習することにしたい。

< 学生への要望 >

外科学は、内科学や整形外科に比べるとリハビリテーションとの関係が薄いように感じられるかも知れないが、現代医学の中で重要な位置を占めており、外科の知識と技術は君たちが医療現場に出てからもぜひ必要なものである。私自身の40年に及ぶ外科医としての体験を含め、「外科とは何か」という問題を君たちと一緒に考えてみたいと思う。

< 授業内容 >

1. (講義) 外科の歴史、外科の特殊性
2. (講義) 無菌法、感染予防
3. (講義) 損傷 (機械的損傷を中心に)
4. (講義) 非機械的損傷 (とくに熱傷)
5. (講義) 腫瘍、輸血・輸液
6. (講義) 外科各論 (心臓外科、臓器移植等)
7. (講義) 問題演習
8. 　　まとめ

以上の7項目を予定しています (進行状況に応じて変更の可能性もあります)

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

脳神経外科学

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当： 陶山一彦

長崎みなとケアセンター市民病院

< 講義概要 >

脳神経外科学についての知識を深め、実践に役立てる。

< 学生への要望 >

考える習慣をつけ、不明な点は早めに解決しましょう。

< 授業内容 >

1. (講義) 神経の臨床解剖、画像診断
2. (講義) 神経症候
3. (講義) 脳血管障害 (くも膜下出血)
4. (講義) 脳血管障害 (脳出血)
5. (講義) 脳血管障害 (脳梗塞)
6. (講義) 脳腫瘍
7. (講義) 頭部外傷
8. 　　まとめ

< 教科書 > 井手隆文 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

リハビリテーション概論Ⅰ

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：早野和之

専任教員

< 講義概要 >

リハビリテーションに携わる専門職を目指すものとして、「健康」と「障害」について理解し、個人や社会の障害に対する考え方の変遷、社会保障体制の変化を学ぶ必要がある。リハビリテーション概論では、これらの基本知識を習得し、それらに関連する職種についての理解を深める。

< 学生への要望 >

わからない言葉・用語は、辞書などで調べ、理解していくよう心がけて下さい。

< 授業内容 >

1. (講義) リハビリテーションとは
2. (講義) リハビリテーションの定義と動向
3. (講義) エンパワメントとノーマライゼーション
4. (講義) 健康と障害
5. (講義) 障害のモデル
6. (講義) 国際生活機能分類とは①
7. (講義) 国際生活機能分類とは②
8. (講義) リハビリテーションの諸段階 (目的と過程)
9. (講義) リハビリテーションの領域①
10. (講義) リハビリテーションの領域②
11. (講義) チームアプローチと専門職①
12. (講義) チームアプローチと専門職②
13. (講義) リハビリテーションを支える社会保障制度
14. (講義) 障害者総合支援法と介護保険法
15. まとめ

< 教科書 > 中村隆一 入門リハビリテーション概論第7版 医歯薬出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

リハビリテーション概論Ⅱ

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 韋 傳春・牧山美穂

専任教員

中村聰美

< 講義概要 >

リハビリテーションに携わる専門職を目指すものとして、「健康」と「障害」について理解し、個人や社会の障害に対する考え方の変遷を学ぶ必要がある。リハビリテーション概論Ⅱでは障害体験を通して、障害者の立場から生活環境を見つめ直し普段気づかないバリアについてPT・OTの立場から考えていく。

< 学生への要望 >

わからない言葉・用語は、辞書などで調べ、理解していくよう心がけて下さい。また単に体験で終わるのではなく、それによって感じた事を大切にして下さい。

< 授業内容 >

1. (講義) バリアフリー、ユニバーサルデザイン① (韋)
2. (講義) バリアフリー、ユニバーサルデザイン② (韋)
3. (講義) 障害体験オリエンテーション・行動計画立案 (韋・中村)
4. (演習) 介護技術① (視覚障害) (牧山)
5. (演習) 介護技術② (介助動作) (牧山)
6. (演習) 障害体験 (韋・中村)
7. (演習) 障害体験 (韋・中村)
8. (演習) 障害体験まとめ (韋・中村)
9. (演習) 障害体験まとめ (韋・中村)
10. (講義) 障害体験発表会 (韋・中村)
11. (演習) 障害者スポーツ体験 (牧山)
12. (演習) 手話体験 (牧山)
13. (講義) 障害者の活動と参加を知る① (中村)
14. (講義) 障害者の活動と参加を知る② (中村)
15. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

基礎作業学 I

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：早野和之・中村聡美

専任教員

< 講義概要 >

作業に関する基礎知識についての理解を図る。各種の作業活動の技法を学び、多面的に分析する能力を養う。

< 学生への要望 >

課題レポートや作品は、期限を守り、まじめに取り組むこと。

< 授業内容 >

1. (講義) 作業とは (早野)
2. (講義) ひとと作業 (早野)
3. (講義) 作業の知 (早野)
4. (講義) 作業と生活機能 (早野)
5. (講義) 作業を分析する① (中村)
6. (講義) 作業を分析する② (中村)
- 7-9. (演習) モザイク (早野)
- 10-12. (演習) 革細工 (中村)
- 13-14. (講義) 作業の技, 技を育む (中村)
15. まとめ

< 教科書 > 山根 寛 ひとと作業・作業活動 新版 三輪書店
日本作業療法士協会 作業—その治療的応用 改定第2版 協同医書出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (作品提出)

作業療法概論 I

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 牧山美穂

専任教員

< 講義概要 >

作業療法についての概要を理解し、作業療法士という専門職としての基本的姿勢を身につける。また、講義や見学実習を通して、作業療法の意味や役割について考える。

< 学生への要望 >

わからない言葉（用語）は、辞書などで調べるなど、積極的に理解する努力を行って欲しい。ひととかかわる職種なので、ひとに対する関心を持って取り組んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 作業療法の「作業」
2. (講義) 作業療法、作業療法士の役割
3. (講義) 作業療法の歴史（日本、世界）
- 4-6. (講義) 作業療法の対象と実際の流れ
8. (講義) 作業療法の理論
9. (講義) 施設見学の目的・目標、見学にあたっての心得
10. (演習) 見学施設の概要
- 11-12. (実習) 施設見学
- 13-14. (演習) 施設見学のまとめと発表
15. まとめ

< 教科書 > 日本OT協会 作業療法学全書改訂第3版作業療法概論 協同医書出版
医学大辞典 南山堂

< 参考書 > 長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 作業療法概論(改訂第2版) メジカルビュー社

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

作業療法概論Ⅱ

作業療法学科
1 学年 後期

2 単位 [75 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	1 単位	45 時間

担当：荒木一博

専任教員

< 講義概要 >

作業療法についての概要を理解し、作業療法士という専門職としての基本的姿勢を身につける。また、講義や見学実習を通して、作業療法の意味や役割について考える。

< 学生への要望 >

わからない言葉（用語）は、辞書などで調べるなど、積極的に理解する努力を行って欲しい。ひととかかわる職種なので、ひとに対する関心を持って取り組んでほしい。

< 授業内容 >

- 1-2. (講義) 作業療法の資質と職業倫理
- 3-6. (講義) 各領域における作業療法
- 7. (講義) 見学実習の目的と目標、心得
- 8-29. (実習) 見学実習
- 30-33. (演習) 見学実習のまとめと報告
- 34-35. (講義) 作業療法における管理・運営
- 36-37. (講義) 作業療法に関わる理論や技法
- 38. まとめ

< 教科書 > 日本OT協会 作業療法学全書改訂第3版 作業療法概論 協同医書出版

< 参考書 > 岩崎テル子 標準OT学 作業療法概論 第2版 医学書院
長崎重信 OT学ゴールマスターテキスト 作業療法概論(改訂第2版) ミジカルビュー社

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

評価学概論

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛・中村聡美

専任教員

< 講義概要 >

作業療法評価の必要性、対象、手順について学ぶ。また評価と治療計画の関係、評価の留意点など評価学の基礎を学ぶ。

< 学生への要望 >

作業療法評価学や作業療法治療学、臨床実習に繋がる講義ということを確認し、意識を高く持って学習してほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 評価学とは (下村)
2. (講義) バイタルサイン (下村)
3. (講義) 身体障害領域のOT評価 (下村)
4. (講義) 心の病、精神障害とは (中村)
5. (講義) 精神障害に対する評価の意義・流れ (中村)
6. (講義) 精神障害に対する評価の分類 (中村)
7. (講義) 精神障害に対するリハビリテーション (中村)
8. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 作業療法評価学(改訂第2版) メジカルビュー社

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

作業療法評価学 I

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛・福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

評価の目的・意義を理解すること、評価に求められる知識と技術を身に付けること、対象者に応じた評価法の選択と計画が出来るようになることを学ぶ。

< 学生への要望 >

予習・復習すること。演習だけでは、技術を一人で身に付けることは難しいので学生同士で積極的に練習して欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 評価の目的および意義について (下村)
2. (講義) 面接および観察 (福島)
3. (講義) 形態測定とは (下村)
4. (演習) 形態測定：身長・体重・四肢長・周径 (下村・福島)
5. (講義・演習) 筋緊張検査 (下村・福島)
6. (講義・演習) 反射検査 (福島・下村)
7. (講義) 片麻痺機能検査 (Brunnstrom stage) (下村)
8. (演習) 片麻痺機能検査 (Brunnstrom stage) (下村・福島)
9. (講義) 感覚検査について (下村)
10. (演習) 感覚検査 (下村・福島)
11. (講義) 関節可動域測定総論 (福島)
12. (演習) 関節可動域測定① (頸部、体幹) (福島・下村)
13. (演習) 関節可動域測定② (上肢) (福島・下村)
14. (演習) 関節可動域測定③ (下肢) (福島・下村)
15. まとめ

< 教科書 > 長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 作業療法評価学(改訂第2版) ミジカルビュー社
田崎義昭 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 南山堂

< 参考書 > 潮見泰蔵 リハビリテーション基礎評価学 第1版 羊上社

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

日常生活活動Ⅰ

作業療法学科
1 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：荒木一博

専任教員

< 講義概要 >

対象者の生活を支援する作業療法において、日常生活活動を深く考え分析していくことは治療の原点となるものである。日常生活活動の概念や評価、基本となる活動について学習する。

< 学生への要望 >

・身近な日常生活の様々な活動について、興味を持って学んでほしい。・演習やグループワーク、発表など率先して取り組んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) ADL の概念①
2. (講義) ADL の概念②
3. (講義) ADL の範囲
4. (講義) ADL 指導の概要
5. (講義) ADL の評価
6. (講義) 基本動作①
7. (演習) 基本動作②
8. (演習) リハビリテーション支援機器①
9. (演習) リハビリテーション支援機器②
10. (演習) リハビリテーション支援機器③
11. (演習) リハビリテーション支援機器④
12. (演習) リハビリテーション支援機器⑤
13. (演習) 生活環境を考える①
14. (演習) 生活環境を考える②
15. まとめ

< 教科書 > 長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 日常生活活動 (ADL) シンカルビュー社

< 参考書 > 橋本 隆 作業療法学全書 日常生活活動 協同医書出版
日常生活活動 (ADL) 神陵文庫

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

日常生活活動Ⅱ

作業療法学科
1 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：荒木一博

専任教員

< 講義概要 >

対象者の生活を支援する作業療法において、日常生活活動を深く考え分析していくことは治療の原点となるものである。日常生活活動の各動作についてじっくりと学習する機会にし、2年次の専門的な学習につなげていく。

< 学生への要望 >

・身近な日常生活の様々な活動について、興味を持って学んでほしい。・演習やグループワーク、発表など率先して取り組んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 前期の復習
2. (講義) ADL 評価
3. (演習) 質的評価①
4. (演習) 質的評価②
5. (演習) 食事動作について
6. (演習) 排泄動作について
7. (講義) 食事動作と排泄動作のまとめ
8. (演習) 更衣動作
9. (演習) 整容動作
10. (講義) 更衣動作と整容動作のまとめ
11. (演習) 入浴動作
12. (演習) コミュニケーション
13. (講義) 入浴動作とコミュニケーションのまとめ
14. (講義) IADL について
15. まとめ

< 教科書 > 長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 日常生活活動 (ADL) シンカルビュー社

< 参考書 > 作業療法学全書 日常生活活動 協同医書出版
橋元 隆 日常生活活動 (ADL) 神陵文庫

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

解剖学Ⅲ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [45 時間]

講義	単位	時間
実技	1 単位	45 時間

担当：弦本敏行・岡本圭史
佐伯和信／分部哲秋

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
同上 / 校長

< 講義概要 >

解剖学標本を観察させていただくことにより、人体諸器官の正常構造およびそれぞれの器官の関連性について学習する。

< 学生への要望 >

毎日、専用ゲタにはき替えた上で、開始5分前までに実習室に入室しておくこと。実習室では私語は厳禁、ご遺体には礼節を尽くすこと。

< 授業内容 >

	内容	
第1日 (実習)	I、頭部	II、頸部
第2日 (実習)	III、胸部	IV、腹部と骨盤部
第3日 (実習)	V、内臓	※脳と脊髄の観察
第4日 (実習)	VI、背部	
第5日 (実習)	VII、上肢	
第6日 (実習)	VIII、臀部	IX、下肢
第7日 (実習)	X、関節	—— 試験、清掃 ——

- 注意 ① ※については、脳全体標本、脳正中断標本および脊髄と脊髄神経標本が準備されているが、「てびき」にはこれらについて記載されていないので、各自マクロ的範囲の事項を予習してくること。
- ② 第4日の「VI、背部」については、要領よく観察し、あいた時間を上肢の観察に使うこと。

< 教科書 > 平田幸男 分冊 解剖学アトラス I・II・III 文光堂
配布プリント「解剖標本見学実習のてびき」

< 参考書 > _____

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

運動学Ⅲ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛・福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

人の運動・動作の特徴とそれに伴う現象を理解し、観察・測定・分析の初歩的手段を体験する。また、観察・測定・分析の結果をレポートとしてまとめることを練習する。

< 学生への要望 >

まず見ること。考えながら見ること。必ずメモをとること。なぜそうなっているのか考えること。そして、行ったこと、見出したこと、考えたことを整理すること。

< 授業内容 >

1. (講義) ADLの運動学と動作・運動分析
2. (講義) 筋骨格と関節運動について
3. (演習) 筋骨格と関節運動Ⅰ 頭頸部・体幹
4. (演習) 筋骨格と関節運動Ⅱ 上肢帯および上肢
5. (演習) 筋骨格と関節運動Ⅲ 下肢帯および下肢
6. (演習) 筋骨格と関節運動Ⅳ 手
7. (講義) 姿勢について
8. (演習) 姿勢Ⅰ 正常座位姿勢・立位姿勢
9. (演習) 姿勢Ⅱ 立ち直り・バランス反応
10. (講義) 動作について
11. (演習) 動作：姿勢の変換
12. (演習) 動作：歩行
13. (演習) 動作：上肢・手の動作
14. (講義) 事例
15. まとめ

< 教科書 > 石川 朗 理学療法・作業療法テキスト 運動学実習 中山書店

< 参考書 > 鎌倉矩子 運動学実習 三輪書店
中村隆一 基礎運動学 医歯薬出版
小柳磨毅 P T・O Tのための運動学テキスト 金原出版

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

病理学概論

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：片瀬直樹

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

病理学は疾患の成り立ちを明らかにする基礎医学の一分野であると同時に患者から採取した細胞や組織の病理診断、術中病理診断、亡くなった患者の死因や治療上の疑問点を検討する病理解剖を担う臨床科の側面ももつ。このように病理学は基礎と臨床の橋渡しの学問として極めて重要である。履修においては、解剖学、生理学などの正常構造と機能の理解が前提となる。また病理学の知識は臨床医学を理解するうえでの基礎知識となる。本講義では病理学概論として病理学総論を主体として講義し、適宜各論の内容を補充する。

< 学生への要望 >

講義に出席する。
毎回講義資料を前もって配布するので、予習として熟読してくること。

< 授業内容 >

1. (講義) 病理学の概要、
2. (講義) 病因論 (内因、外因)
3. (講義) 先天異常 (病因と分類、遺伝子疾患、染色体異常、診断) ①
4. (講義) 先天異常 (病因と分類、遺伝子疾患、染色体異常、診断) ②
5. (講義) 代謝障害 (変性、萎縮)
6. (講義) 循環障害 (充血、うっ血、出血)
7. (講義) 循環障害 (虚血、梗塞、血栓症、塞栓症)
8. (講義) 炎症 (分類、炎症性細胞の種類)
9. (講義) 炎症 (肉芽腫性炎、組織修復と炎症)
10. (講義) 免疫 (自然免疫と獲得免疫)
11. (講義) 免疫 (抗体とT細胞受容体、過敏症と自己免疫疾患)
12. (講義) 腫瘍 (定義と分類)
13. (講義) 腫瘍 (発生機序)
14. (講義) 老化と死
15. まとめ

< 教科書 > 坂本穆彦 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 第4版 医学書院

< 参考書 > 梶原博毅 標準PT・OT 専門基礎分野 病理学 第4版 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

内科学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：井手政利
岩永正子

井手内科クリニック
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

< 講義概要 >

1年後期に引き続き、消化器系疾患および系統的疾患を学習する。
教科書は1年後期と同じものを使用し、プリントを併用することも前回と同様である。
1年後期と同じく、断片的知識よりも、病態の理解を中心に授業を進める方針である。

< 学生への要望 >

学習すべき内容が多いのは2年前期も1年後期と同様である。3年という期間で国試合格の力をつけるのは容易なことではなく、内科学の知識は国試一般問題の根幹をなす重要部分であることを認識し、あと2年の期間を有効に活用する必要がある。成績がよい学生と留年する学生の違いは「頭の良さ」などではなく、日々学習する習慣が身につけているかいないかの違いである。気合を入れ直して授業に臨んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 消化器疾患1 (総論) (井手)
2. (講義) 消化器疾患2 (各論1) (井手)
3. (講義) 消化器疾患3 (各論2) (井手)
4. (講義) 胆肝膵疾患1 (解剖生理) (井手)
5. (講義) 胆肝膵疾患2 (各論1) (井手)
6. (講義) 胆肝膵疾患2 (各論1) (井手)
7. (講義) 血液・造血器疾患1 (総論) (岩永)
8. (講義) 血液・造血器疾患2 (各論) (岩永)
9. (講義) 代謝性疾患1 (井手)
10. (講義) 代謝性疾患2 (井手)
11. (講義) 内分泌疾患1 (総論) (井手)
12. (講義) 内分泌疾患2 (各論) (井手)
13. (講義) 腎・泌尿器疾患1 (井手)
14. (講義) 腎・泌尿器疾患2、演習問題 (井手)
15. まとめ

< 教科書 > 前田英治ほか 標準PT・OTシリーズ 内科学 第3版 医学書院
プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (試験は多肢選択式や口頭試問、記述式など。)

整形外科学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：衛藤正雄

済生会長崎病院

< 講義概要 >

整形外科一般（基礎、診断、治療、リハビリ）

< 学生への要望 >

特になし

< 授業内容 >

1. (講義) 整形外科学各論 骨盤部の疾患
2. (講義) 整形外科学各論 四肢切断及び四肢欠損
3. (講義) 整形外科学各論 スポーツ整形外科 1
4. (講義) 整形外科学各論 スポーツ整形外科 2
5. (講義) 整形外科学各論 慢性関節疾患（退行性、代謝性）
6. (講義) 整形外科学各論 リウマチとその類縁疾患
7. (講義) 整形外科学各論 感染症
8. (講義) 整形外科学各論 代謝・内分泌疾患
- 9-10. (講義) 整形外科学各論 神経疾患・筋疾患
11. (講義) 整形外科学各論 骨系統疾患
12. (講義) 整形外科学各論 骨壊死及び骨端症
13. (講義) 整形外科学各論 四肢循環障害
14. (講義) 整形外科学各論 身体障害者スポーツ
15. まとめ

< 教科書 > 整形外科学テキスト 改訂第3版 南江堂

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他：（ ）

神経内科学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：佐藤 聡・冨田逸郎
瀬戸牧子・佐藤秀代

長崎北病院

< 講義概要 >

実地臨床で遭遇することが多い神経内科疾患について、疾患概念、病因、疫学、臨床所見、検査、治療を講義する。

< 学生への要望 >

臨床・介入の場面で総軍する神経疾患は多いが、ポイントは限られている。総論同様、授業でポイントをつかんで欲しい。また、ノート、メモをしっかりとって欲しい。

< 授業内容 >

- | | | |
|----|-----------------------------------------|------|
| 各論 | 1. (講義) 脳血管疾患、頭蓋内出血、くも膜下出血 | (佐藤) |
| | 2. (講義) 脳血栓、脳塞栓、一過性脳虚血発作 | (佐藤) |
| | 3. (講義) 分水界梗塞、特異な臨床像他、診断、治療 | (佐藤) |
| | 4. (講義) 脊髄性感覚障害、脊髄疾患 | (冨田) |
| | 5. (講義) 脊髄性小脳変性症、MND、BSMA、MS、NMO、ADEM | (冨田) |
| | 6. (講義) Parkinson病、PSP、SND、SMA、Fahr病 | (佐藤) |
| | 7. (講義) ジストニー、瀬川病、Wilson、舞踏病 | (一瀬) |
| | 8. (講義) 末梢神経障害 | (一瀬) |
| | 9. (講義) ミオパチー (筋ジス) | (佐藤) |
| | 10. (講義) ミオパチー (Myotonia)、MELAS、筋無力症、筋炎 | (佐藤) |
| | 11. (講義) 神経感染症 | (冨田) |
| | 12. (講義) てんかん、中毒、先天性代謝障害 | (瀬戸) |
| | 13. (講義) 糖尿病、肝不全、腎不全、排尿障害、リウマチ | (冨田) |
| | 14. (講義) 補講、総合講義 | (冨田) |
| | 15. まとめ | |

< 教科書 > 奈良 勲 神経内科学 第4版 (PT・OT専門基礎分野) 医学書院

< 参考書 > 田崎義昭 ベッドサイドの神経の診かた 南山堂
神経病学

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

精神医学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：早野和之

専任教員

< 講義概要 >

各種精神疾患について学ぶとともに、ライフサイクルによる特性を知る。また、治療・リハビリテーション、精神保健について理解を深める。

< 学生への要望 >

予習・復習を行い、精神医学Ⅰで学んだことを基盤に理解を深めていくこと。
わからない用語などは、教科書や辞書を用いて調べる習慣を身に付けること。

< 授業内容 >

1. (講義) てんかん
2. (講義) 生理的障害および身体的要因に関連した障害
3. (講義) 心身症
4. (講義) 人格障害①
5. (講義) 人格障害②
6. (講義) 心理的発達の障害
7. (講義) ライフサイクルにおける特性①
8. (講義) ライフサイクルにおける特性②
9. (講義) 小児期から成人期の精神医学
10. (講義) 初老期から老年期の精神医学
11. (講義) 精神障害の治療とリハビリテーション①
12. (講義) 精神障害の治療とリハビリテーション②
13. (講義) 精神障害の治療とリハビリテーション③
14. (講義) 精神科保健医療と福祉
15. 　　まとめ

< 教科書 > 上野武治 標準PTOT学 精神医学 第3版 医学書院

< 参考書 > 野村聡一郎・他 標準精神医学 第6版 医学書院
長尾 博 図表で学ぶ精神保健 培風館
太田保之・他 学生のための精神医学 第3版 医歯薬出版

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

小児科学

作業療法学科
2 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：馬場輝實子

活水女子大学健康生活学部

< 講義概要 >

小児期は発達段階にあり、小児期における疾患の特徴など成人との違いを理解することが大切です。したがって、PT/OTとしての役割は発達段階を考えながら行う必要があります。講義はパワーポイント（40枚位）を用いますが、資料は前もってお渡します。

< 学生への要望 >

今日の社会情勢で小児期の異常な問題がたくさんあります。何故このようなことが起こるのかを考え、小児の心理的理解および対応のあり方について日常的に関心をもって欲しい。講義内容が多いと思いますが、是非予習・復習をしてください。

< 授業内容 >

1. (講義) 小児科概論
2. (講義) 診断と治療
3. (講義) 新生児、未熟児の疾患
4. (講義) 先天性異常と遺伝病
5. (講義) 循環器疾患
6. (講義) 神経・筋・骨疾患
7. (講義) 神経・筋・骨疾患
8. (講義) 感染症
9. (講義) 血液疾患、腫瘍
10. (講義) 消化器疾患、内分泌疾患、代謝疾患
11. (講義) 腎・泌尿器疾患、生殖器疾患
12. (講義) 免疫・アレルギー疾患、膠原病
13. (講義) 習癖、睡眠関連病態、心身医学的疾患、虐待
14. (講義) 重症心身障害児
15. まとめ

< 教科書 > 富田 豊 標準理学療法学・作業療法学 小児科学 医学書院

< 参考書 > 奈良間美穂・他 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

老年医学

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：北原隆志、本多 舞

望月保志

長崎大学病院

< 講義概要 >

わが国は世界に例をみない速度で社会の高齢化が進み、超高齢社会の到来を迎えており、老年医学の重要性がますます増大している。このカリキュラムは、リハビリテーションの現場で高齢者に接するときの問題点を理解し、適切な対応の仕方を学ぶ内容にしたい。

< 学生への要望 >

高齢者のリハビリテーションを効果的に進めるためには、老化と老年期に関する総合的な知識が欠かせない。これまでのカリキュラムでは、小児特有の病態生理を学ぶ小児科学はあっても、高齢者の生理的特徴や老人に好発する疾患について包括的に学習する機会がなかった。この授業を通して加齢に伴う病態生理を理解し、将来の医療現場での活躍に生かしてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) くすりの基礎と体内での働きについて (北原)
2. (講義) くすりの相互作用について (北原)
3. (講義) 皮膚科領域 1 (本多)
4. (講義) 皮膚科領域 2 (本多)
5. (講義) 皮膚科領域 3 (本多)
6. (講義) 腎・泌尿器領域 1 (望月)
7. (講義) 腎・泌尿器領域 2 (望月)
8. (講義) 腎・泌尿器領域 3 (望月)
9. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

救急医学

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：宮川尚孝

宮川外科医院

< 講義概要 >

現代は環境が危険に満ちた時代であり、日常生活でさまざまな事故や急病に遭遇することは避けられない。その際に的確な応急処置を行えるか否かは、時に生命の予後に関係する。とくに医療現場でそのような突発事故に出会ったときに患者の生命を救えるかどうかによって、あなたのプロフェッショナルとしての力量が試されることになる。この科目では、心停止をはじめとして、生命を脅かすさまざまな病態の理解とその対応を学習し、とくに重要な心肺蘇生法は、ビデオなども用いて十分な学習を行いたい。

< 学生への要望 >

救急法の知識と技術は、教室で授業を受けて単位を取ればよいというものではなく、医療人として、あるいは責任ある社会の一員として、生涯にわたって身につけるべきものである。この教科の基本概念をよく理解し、習得して、継続的な学習を続けて欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 救急医学、救急医療システム
2. (講義) 心肺蘇生法 (その 1)
3. (講義) 心肺蘇生法 (その 2)
4. (講義) 救急症候 1 (意識障害)
5. (講義) 救急症候 2 (ショック・循環不全・心不全)
6. (講義) 救急症候 3 (呼吸困難)
7. (講義) 出血と止血
8. (講義) まとめと演習

以上の 8 項目を予定している (進行状況に応じて変更の可能性もある)

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

日本救急医療財団 監修 救急蘇生法の指針 (医師用)

へるす出版

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

基礎作業学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

2 単位 [60 時間]

講義	単位	時間
実技	2 単位	60 時間

担当：早野和之・荒木一博
福島浩満・中村聰美

専任教員

< 講義概要 >

各種の作業活動(Activity)を行い、作業分析および指導法について習得する。また各作業のもつ治療効果について学ぶ。

< 学生への要望 >

各種作業活動の技法の習得のみに終始することなく、作業活動の意義についても理解を深め、活動の持つ魅力についても探求してほしい。またさらに、治療的応用についても積極的に学んでほしい。事前に各活動について予習し、活動に適した服装で参加すること。

< 授業内容 >

- 1-2. (講義) 全6種目の活動の概要の理解。演習に必要な道具の準備・整理
- 3-6. (演習) I:園芸、II:陶芸、III:織物、IV:手工芸 について学)
- 7-10. (演習) I:手工芸、II:園芸、III:陶芸、IV:織物 について学ぶ
- 11-14. (演習) I:織物手、II:工芸、III:園芸、IV:陶芸 について学ぶ
- 15-18. (演習) I:陶芸、II:織物、III:手工芸、IV:園芸 について学ぶ
- 19-22. (演習) I・II:木工、III・IV:絵画 について学ぶ
- 23-26. (演習) I・II:絵画、III・IV:木工について学ぶ
- 27 (演習) 陶芸の仕上げまたは釉薬かけ、園芸の点検、道具の整理
- 28-29. (演習) 作業分析と治療的応用について・レポートのフィードバック・後片付け
30. まとめ

<教科書> 山根 寛 ひとと作業・作業活動 新版 三輪書店
日本作業療法士協会 作業—その治療的応用 改定第2版 協同医書出版

<参考書> 鷺田孝保 作業療法学全書第2巻 基礎作業学 協同医書出版
岩瀬義昭 基礎作業学実習ガイド 協同医書出版

<評価方法> 定期試験 レポート 出席態度

その他：(作品)

基礎作業学Ⅲ

作業療法学科
2 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛

専任教員

< 講義概要 >

1年後期の基礎作業学Ⅰ、2年前期に行われる基礎作業学Ⅱで行われた作業活動をさらに限定的作業分析としての活動を体験し、治療的応用としての活動を実践することを学ぶ。

< 学生への要望 >

既存の活動を分析することから、治療適応力として新たな活動を考えてください。

< 授業内容 >

1. (講義) 包括的作業分析とは
2. (講義) 限定的作業分析とは
3. (講義) 限定的作業分析の方法について
4. (演習) 限定的作業分析の具体的方法について①
5. (演習) 限定的作業分析の具体的方法について②
6. (演習) 限定的作業分析の具体的方法について③
7. (演習) 限定的作業分析の具体的方法について④
8. (演習) 限定的作業分析の具体的方法について⑤
9. (講義) 作業の治療的な応用について
10. (演習) 作業の治療的な応用の具体的方法について①
11. (演習) 作業の治療的な応用の具体的方法について②
12. (演習) 作業の治療的な応用の具体的方法について③
13. (演習) 作業の治療的な応用の具体的方法について④
14. (講義) Bottom up approach と Top down approach
15. まとめ

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

作業療法評価学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛 福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

身体障害領域の対象者理解に求められる評価について学ぶ。各検査の目的及び方法を臨床で実施し、迅速に行えるように体験する。

< 学生への要望 >

評価学実習を行う前に、各検査は一人一人が被験者・検査者となり、協力して実施できるように学んでほしい。

< 授業内容 >

- 1-2. (講義) 1年生時の評価についての復習 (下村・福島)
3. (講義) 片麻痺機能検査 (上田) (下村)
4. (講義) 脳神経検査 (福島)
5. (講義) 上肢機能検査 (下村)
6. (講義) 協調性の評価 (福島)
- 7-10. (演習) 急性期または回復期の実習① (福島)
- 11-14. (演習) 急性期または回復期の実習② (福島)
15. まとめ (下村・福島)

< 教科書 >	長崎重信	OT学グローバルマスターテキスト 作業療法評価学(改訂第2版)	メジカルビュー社
	福田 修	PT・OTのための測定評価DVD Series3 MMT	三輪書店
	福田 修	PT・OTのための測定評価DVD Series4 MMT	三輪書店

< 参考書 >	田崎義明	ベッドサイドの神経の診かた	南山堂
	岩崎テル子	標準作業療法学 作業療法評価学第2版	医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

作業療法評価学Ⅲ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当：中村聰美

専任教員

< 講義概要 >

精神科領域の対象者理解に求められる評価について学ぶ。治療場面から生活場面までに必要な評価のうち、現在多く使用されているもの、学生が実施可能なものを学び、体験する。

< 学生への要望 >

講義スケジュールを渡すので、予習してきて欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 精神科作業療法の概要・評価の目的
2. (講義) 情報収集／面接
3. (演習) 観察／作業遂行能力評価
4. (講義) 精神症状の評価
5. (講義) 集団関係技能評価
6. (講義) 生活障害評価／記録と報告
- 7-14. (演習) 施設実習
15. まとめ

< 教科書 > 岩崎テル子 標準作業療法学 作業療法評価学 第2版 医学書院

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： (小テスト)

作業療法評価学演習 I

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛・福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

身体障害領域の対象者理解に求められる評価について学ぶ。各検査の目的及び方法を臨床で実施し、迅速に行えるように体験する。

< 学生への要望 >

評価学実習を行う前に、各検査は一人一人が被験者・検査者となり、協力して実施できるように学んでほしい。

< 授業内容 >

1. (演習) 復習：片麻痺機能検査 (上田式) (下村・福島)
2. (演習) MMT について：座位 (下村・福島)
3. (演習) MMT I：座位 (下村・福島)
4. (演習) MMT II：背臥位 (下村・福島)
5. (演習) MMT III：側臥位 (下村・福島)
6. (演習) MMT IV：腹臥位 (下村・福島)
7. (演習) MMT V：立位・長座位 (下村・福島)
8. まとめ (下村・福島)

< 教科書 >	長崎重信	OT学ゴールドマスターテキスト 作業療法評価学(改訂第2評	メジカルビュー社
	福田 修	PT・OTのための測定評価DVD Series3 MMT	三輪書店
	福田 修	PT・OTのための測定評価DVD Series4 MMT	三輪書店

< 参考書 >	田崎義明	ベッドサイドの神経の診かた	南山堂
	岩崎テル子	標準作業療法学 作業療法評価学	医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

作業療法評価学演習Ⅱ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：早野和之・中村聡美

専任教員

< 講義概要 >

評価技法は知識だけでは習得できない。面接や各評価を実施できる力を身につけるため、演習する機会を設ける

< 学生への要望 >

精神医学及び作業療法評価学Ⅲの復習をしておくこと。講義スケジュールを渡すので、予習してきて欲しい。

< 授業内容 >

1. (演習) 評価実技演習オリエンテーション (早野・中村)
2. (演習) 興味・関心の評価 (早野・中村)
3. (演習) ニーズの把握 (早野・中村)
4. (演習) 生活障害評価 (早野・中村)
5. (演習) 自己効力感の評価 (早野・中村)
6. (演習) 気分と疲労のチェックリスト (早野・中村)
7. (演習) 抑うつ状態の評価 (早野・中村)
8. まとめ (早野・中村)

< 教科書 >

プリント配布

< 参考書 >

山根 寛	精神障害と作業療法 第3版	三輪書店
Mary Law	COPM～カナダ作業遂行測定～第4版	大学教育出版
岩崎テル子	標準作業療法 専門分野 作業療法評価学第2版	医学書院

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： (小テスト)

身体障害治療学 I

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛

専任教員

< 講義概要 >

身体障害作業療法の理論的アプローチおよびその理論に基づく疾患別対処法を学習する。

< 学生への要望 >

各疾患の症状とアプローチについて理解を図ること。身体に障害を持つ方々の生活支援に求められる知識および援助法を習得し実践できるように学んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 身体障害作業療法について
2. (講義) 身体障害に対するアプローチ (Pedretti) の考え方①
3. (講義) 身体障害に対するアプローチ (Pedretti) の考え方②
4. (講義) 機能障害① ROM制限に対するアプローチ
5. (講義) 機能障害② 筋緊張の異常に対するアプローチ
6. (講義) 機能障害③ 筋力・持久力低下に対するアプローチ
7. (講義) 機能障害④ 感覚障害に対するアプローチ
8. (講義) 疾患別① 末梢神経損傷の作業療法
9. (講義) 疾患別② 骨折の作業療法
10. (講義) 疾患別③ 関節リウマチの作業療法
11. (講義) 疾患別④ 熱傷の作業療法
12. (講義) 疾患別⑤ パーキンソン病の作業療法
13. (講義) 疾患別⑥ 内部疾患の作業療法
14. (講義) 疾患別⑦ 神経・筋疾患の作業療法
15. まとめ

< 教科書 > 菅原洋子 作業療法学全書第4巻 身体障害 改訂第3版 協同医書出版

< 参考書 > 図解 作業療法技術ガイド 第2版 文光堂

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

身体障害治療学Ⅱ

作業療法学科
2 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

作業療法の対象となる身体障害の特徴を理解し、さらに日常生活活動の低下などの生活障害に対し、障害特性に応じた実践的な知識、技術の理解と習得を目指す。

< 学生への要望 >

各疾患の特性を復習し、理解を深めておいて下さい。評価結果から疾患に起因する生活障害を推察し、問題点に対する治療・指導・援助内容を選択し、実施するという流れを理解してほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 身体障害に対する作業療法評価とアプローチを学ぶ
2. (演習) 関節可動域訓練の基本を習得する
3. (演習) 脳血管障害に対する作業療法①
4. (講義) 脳血管障害に対する作業療法②
5. (講義) 頭部外傷に対する作業療法
6. (講義) 脊髄損傷に対する作業療法①
7. (講義) 脊髄損傷に対する作業療法②
8. (講義) 手の骨折に対する作業療法
9. (講義) 手指屈筋腱損傷に対する作業療法
10. (講義) 手の末梢神経損傷に対する作業療法
11. (講義) 腱板損傷に対する作業療法
12. (講義) 心疾患に対する作業療法
13. (講義) 呼吸器疾患に対する作業療法
14. (講義) 関節リウマチに対する作業療法
15. まとめ

< 教科書 > 長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 身体障害OT学(改訂第2版) ミジカルビュー社

< 参考書 > 作業療法学全書第4巻 身体障害 I 協同医書出版
図解 作業療法技術ガイド 光文堂

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

義肢装具学

作業療法学科
2 学年 後期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 下村一寛・福島浩満

専任教員

< 講義概要 >

装具は末梢神経損傷・リウマチ等におけるスプリントの名称及び適応について学び、カックアップスプリントの作製を体験する。義手は切断における義手の名称及び適応・チェックアウトについて解説する。

< 学生への要望 >

義肢装具の基礎知識をしっかりと身につけ、的確な装具の選択と製作が可能になるように身に付けてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 義肢装具学の概要について
2. (演習) 上肢装具と下肢装具の名称
3. (講義) スプリント療法について
4. (講義) スプリントの疾患別適応
- 5-8. (演習) カックアップスプリントの作製およびレポート
9. (講義) 作製スプリントの評価およびチェックアウト
10. (演習) 上腕義手の名称
11. (講義) 上腕義手の適応とチェックアウト
12. (演習) 前腕義手の名称
13. (講義) 前腕義手の適応とチェックアウト
14. (講義) 筋電義手および義手のまとめ
15. まとめ

< 教科書 > 古川 宏 作業療法学全書第9巻 義肢装具学 協同医書出版

< 参考書 > 義肢装具のチェックポイント 医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

精神障害治療学

作業療法学科
2 学年 後期

2 単位 [40 時間]

講義	2 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：早野和之・中村聰美

専任教員

< 講義概要 >

精神障害の作業療法の総論と各疾病における作業療法の理論と実際について学ぶ。また、よく用いられる技法について演習を取り入れて講義する。

< 学生への要望 >

精神医学、臨床心理学など精神障害に関連する科目の復習をしておくこと。講義スケジュールを渡すので、予習してきて欲しい。

< 授業内容 >

1. (講義) 人と作業活動・精神の病と障害 (早野)
- 2-3. (講義) 作業療法の目的と役割、構造 (早野)
4. (講義) 作業療法評価 (早野)
5. (講義) 作業療法と関連ある理論 (早野)
6. (講義) 作業療法と関連のある療法・技法 (1) (早野)
7. (講義) 作業療法と関連のある療法・技法 (2) (早野)
8. (講義) 作業療法計画と記録 (早野)
9. (講義) 作業療法に関連する制度とシステム (早野)
- 10-12. (講義) 統合失調症の作業療法 (中村)
- 13-14. (講義) 感情障害の作業療法 (中村)
15. (講義) 神経症の作業療法 (中村)
16. (講義) 境界例人格障害の作業療法 (中村)
17. (講義) アルコール依存症の作業療法 (中村)
18. (講義) てんかんの作業療法 (中村)
19. (講義) 児童・老年期の精神障害と作業療法 (中村)
20. まとめ (早野・中村)

< 教科書 > 朝田 隆 他 精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版 中央法規出版

< 参考書 > 鎌倉矩子 作業療法の世界 三輪書店
山根 寛 精神障害と作業療法 第3版 三輪書店

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

発達障害治療学

作業療法学科
2 学年 後期

2 単位 [40 時間]

講義	2 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当： 浦川由紀子
久保結花

みさかえの園 むつみの家

< 講義概要 >

運動面、認知面、行動面などの発達上の障害を持つ子供の特性と彼らに対して必要な支援について講義する。

< 学生への要望 >

発達障害児に対する作業療法支援は非常にニーズが高く、今後更に重要になっていきます。発達障害の理解は、その他の障害の理解にもつながりますので、発達障害領域に進まない人も発達障害治療学を深く学んで欲しいと思います。

< 授業内容 >

1. (講義) 発達障害領域の作業療法とは
2. (講義) 作業療法の対象となる発達の障害
3. (講義) 原始反射
4. (講義) 立ち直り反応・平衡反応
5. (講義) 脳性まひ児の特性
6. (講義) 脳性まひ児の評価
7. (講義) 脳性まひ児への作業療法
8. (講義) 重症心身障害児の評価
9. (講義) 重症心身障害児への作業療法
10. (講義) 運動障害時のポジショニング、シーティング
11. (講義) 筋ジストロフィー症に対する作業療法
12. (講義) 広汎性発達障害児の特性と評価
13. (講義) 広汎性発達障害児に対する作業療法
14. (講義) 注意欠陥多動性障害児の特性と評価
15. (講義) 注意欠陥多動性障害児に対する作業療法
16. (講義) 学習障害児の特性、評価とその対応
17. (講義) 知的障害児、発達性協調運動障害の特性、評価とその対応
18. (講義) 感覚統合療法
19. (講義) 発達障害領域の国家試験問題
20. まとめ

< 教科書 >	田村良子	作業療法学全書	発達障害	協同医書出版
	今川忠男	発達障害児の新しい療育		三輪書店
	今川忠男	脳性まひ児の24時間姿勢ケア		三輪書店
< 参考書 >	岩崎 清隆	発達障害と作業療法	基礎編 第2版	三輪書店
	岩崎 清隆	発達障害と作業療法	実践編 第2版	三輪書店

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

高齢期治療学

作業療法学科
2 学年 後期

2 単位 [40 時間]

講義	2 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当： 荒木一博

専任教員

< 講義概要 >

高齢期の生活や特性を理解し、作業療法における評価やアプローチについて学習を進めていく。また高齢者を取り巻く制度や施策についても紹介しながら、今後の作業療法士の役割や方向性について考察を深めていく場としたい。

< 学生への要望 >

介護保険等の高齢者への施策の情報について、普段から関心を持つように心がけてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 高齢期の作業療法の考え方、目的、枠組み
2. (講義) 高齢期の対象となる人々、老化とは、高齢者の身体特性
3. (講義) 老化に起因する生活障害
4. (講義) 高齢者に多い症候と廃用症候群
5. (講義) 高齢化の現状、高齢期作業療法が実施される①
6. (講義) 高齢化の現状、高齢期作業療法が実施される②
7. (講義) 介護保険、実施場所と作業療法の特徴
8. (講義) 評価と目標設定①
9. (講義) 評価と目標設定②
10. (講義) 事例を通して目標設定と介入を考える
11. (講義) 作業療法での介入①
12. (講義) 作業療法での介入②
13. (講義) 認知症とは
14. (講義) 認知症の評価
15. (講義) 認知症者への関わりとアプローチ
16. (講義) リスク管理
17. (講義) 家族の理解と連携
18. (演習) 事例検討
19. (演習) 事例検討
20. まとめ

< 教科書 >	浅海奈津美 他	老年期の作業療法	第2版増補版	三輪書店
	小川 敬之	認知症の作業療法	第2版	医歯薬出版

< 参考書 >		高齢期障害領域の作業療法		中央法規
		標準作業療法学	高齢期作業療法学	医学書院

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

高次脳機能障害治療学

作業療法学科
2 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 牧山美穂

専任教員

< 講義概要 >

高次脳機能障害の基礎知識を整理しつつ、その全容を把握する。また、障害別評価およびアプローチについて学び、社会生活までおよぶ高次脳機能障害の全体像を環境と共に理解する能力を養う。

< 学生への要望 >

高次脳機能障害を有する人々への支援を意識して、積極的に取り組むこと。

< 授業内容 >

1. (講義) 総論 高次脳機能障害、脳の機能の特徴
2. (講義) 総論 評価と介入
3. (講義) 各論 意識・感情・知能の評価 I
4. (演習) 各論 意識・感情・知能の評価 II
5. (講義) 各論 注意・記憶障害の評価
6. (演習) 注意・記憶障害への介入方法
7. (講義) 各論 言語機能の評価
8. (演習) 失語症への介入方法
9. (講義) 各論 失認症の評価 I
10. (講義) 各論 失認症の評価 II
11. (演習) 失認症への介入方法
12. (講義) 各論 失行症の評価
13. (講義) 各論 前頭葉障害の評価
14. (講義) 失行症・前頭葉障害への介入方法
15. まとめ

< 教科書 >	石合純夫	高次脳機能障害学 第2版	医歯薬出版
		C R 別冊 高次脳機能障害のリハビリテーション	医歯薬出版
< 参考書 >		作業療法学全書 高次脳機能障害	協同医書出版

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

日常生活活動Ⅲ

作業療法学科
2 学年 前期

1 単位 [30 時間]

講義	1 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 荒木一博

専任教員

< 講義概要 >

疾患別のADLの特徴を理解し、評価や訓練、指導法について学ぶ。

< 学生への要望 >

実習室での演習の際は身なりを整え、実習着を正しく着用すること。

< 授業内容 >

1. (講義・演習) 片麻痺のADL①
2. (講義・演習) 片麻痺のADL②
3. (講義・演習) 片麻痺のADL③
4. (講義・演習) 脊髄損傷のADL①
5. (講義・演習) 脊髄損傷のADL②
6. (講義・演習) 関節リウマチのADL①
7. (講義・演習) 関節リウマチのADL②
8. (講義・演習) 筋ジストロフィー症のADL
9. (講義・演習) 筋萎縮性側索硬化症のADL
10. (講義・演習) パーキンソン病のADL
11. (講義・演習) 脊髄小脳失調症のADL
12. (講義・演習) 内部障害のADL①
13. (講義・演習) 内部障害のADL②
14. (講義・演習) ADL訓練とリスク管理
15. まとめ

< 教科書 > 橋元 隆 日常生活活動(ADL) 神陵文庫

< 参考書 > 作業療法学全書 日常生活活動 協同医書出版
長崎重信 OT学ゴールドマスターテキスト 日常生活活動 (ADL) ミジカルビュー社

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

総合学習 I

作業療法学科
2 学年 後期

1 単位 [15 時間]

講義	1 単位	15 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

< 講義概要 >

3 学年の作業療法研究へ繋げる準備段階的位置づけである。文献抄読を通し、新しい知識に触れるとともに、1 学年で学習した研究方法をより理解することに繋げる。また、国家試験に向けた準備の仕方について学ぶ。

< 学生への要望 >

文献抄読ではタイトルと要約 (Abstract) を繰り返し読み、概要を理解してから内容を読むようにしてほしい。自ら探究心を持って取り組んでほしい。国家試験問題に触れ、自己の明確な到達目標を立ててほしい。

< 授業内容 >

- ・興味があり、学習したい分野、治療法などを決める。
- ・文献検索する。
- ・いくつかの文献から得られた情報を要約する。
- ・文献抄読会を経験する。
- ・国家試験への対策を知る。

< 教科書 > PT学学会 国試の達人PT・OT 2018年 運動解剖生理学編 アイペック
PT学学会 国試の達人PT・OT 2018年 臨床医学編 アイペック

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

地域リハビリテーション学

作業療法学科
2 学年 前期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 牧山美穂

専任教員

< 講義概要 >

地域リハビリテーションの捉え方や各種制度、具体的な実践の方法について知識を深めていく。講義とグループディスカッション形式で授業を行い、OTの役割を考察する場にした。

< 学生への要望 >

教科書を熟読すること。その他、「地域リハビリテーション」に関する文献にて、知見を広めてほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 地域リハビリテーションの歴史と概要
2. (講義) 地域リハビリテーションに携わる職種と社会資源
3. (講義) 地域リハビリテーションの流れ (医療、福祉)
4. (講義) 地域リハビリテーションの流れ (保健)
5. (講義) 地域リハビリテーションと介護保険
6. (講義) 地域リハビリテーションと障害者総合支援法
7. (講義) 生活障害
8. (講義) ケアマネジメント
9. (講義) 事例検討 (1) OTの関わり
10. (講義) 事例検討 (2) OTの関わり
11. (講義) 他職種による地域リハの関わり I (PT)
12. (講義) 他職種による地域リハの関わり II (DH)
13. (演習) 事例検討 (3)
14. (講義) 終末期における地域リハビリテーション
15. まとめ

< 教科書 > 大田仁史 地域リハビリテーション論ver6 三輪書店

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

職業関連活動

作業療法学科
2 学年 後期

2 単位 [30 時間]

講義	2 単位	30 時間
実技	単位	時間

担当： 牧山美穂

専任教員

< 講義概要 >

人が職業に就くことを目的として行われるすべての職業関連活動を学ぶ。就労に必要な基礎的な能力を修得するための準備活動、就職のための活動、および就労生活を継続するために必要な活動を含んでいる。授業は、講義・演習・調査等を行う。

< 学生への要望 >

職業・就業に関する世の中の動きを察知する視点を常に持って、授業に臨んでほしい。

< 授業内容 >

1. (講義) 職業関連活動とは
2. (講義) 障害者と職業 I
3. (講義) 障害者と職業 II
4. (講義) 職業リハビリテーション、援助過程で行われるサービス、障害者の職業
5. (講義) 就労支援における作業療法士の役割 I
6. (講義) 就労支援における作業療法士の役割 II
7. (講義) 評価と指導の流れ I
8. (講義) 評価と指導の流れ II
9. (講義) 指導の実際
- 10-12. (演習) 障害者支援施設見学
13. (演習) 身体障害・精神障害・その他・事例検討 I
14. (演習) 身体障害・精神障害・その他・事例検討 II
15. まとめ

< 教科書 > 平賀 昭信 作業療法学全書 職業関連活動 協同医書出版

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

臨床実習 I

作業療法学科
2 学年 後期

6 単位 [280 時間]

講義	単位	時間
実技	6 単位	280 時間

担当：

< 講義概要 >

本実習では、臨床実習指導者のもと、見学・模倣・実践体験を通して、作業療法を行う上で必要な評価・治療プログラムの立案および医療人として求められる態度や責任感を持って行動することを目的とする。

< 学生への要望 >

臨床での教育は理学療法士、作業療法士という専門職を目指す学生にとって貴重な経験だが、その場は対象者の方々の協力と先輩である専門職の方々の好意によって提供されていることを認識しておきたい。

< 授業内容 >

(演習) 実習オリエンテーション

(実習) 3週間

目標：実際の対象者に適切な評価方法を見学・模倣・可能ならば実践を体験する。

(演習) 課題提出と実習報告会

1. 専門職としての適正およびふさわしい態度がとれる。
2. 対象者・指導者とのコミュニケーションがとれる。
3. 指導者のもと、作業療法評価の見学・模倣体験ができる。
4. 全体像の把握の理解ができる。
5. 対象者へのリスク管理ができる。
6. デイリーノートの作成ができる。

(演習) 課題提出と実習報告会

(演習) 実習オリエンテーション

(実習) 4週間

目標：第1期の目標に加え、対象者に適した評価を模倣・実践し、全体像の把握や課題の焦点化・プログラムの立案を行うことができる。

1-6. 同上

(演習) 課題提出と症例発表会

< 教科書 > 医療情報科学研究所 病気がみえる (vol.7) 脳・神経 メグックメグイ

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

作業療法研究

作業療法学科
3 学年 後期

1 単位 [40 時間]

講義	1 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：専任教員

< 講義概要 >

学生個人で症例研究論文を作り上げる。症例研究を行なうためには3年間で学んだ総合的な知識と文献等を用いた深い考察が必要である。臨床実習での症例への関わりや学んだことを振り返りながら、文献等を参考に視野を広げ、より高度な知識や技術を追求する姿勢を養って欲しい。臨床実習で経験した症例を元に、3年間の知識と文献等を用いてその内容を深め、将来の臨床活動に繋がるような知識、視野、考察力を身につけるべく、論文を作り上げる。

< 学生への要望 >

限られた時間で研究を進めるために、担当教員との連絡を密に行いながら、計画的かつ積極的に取り組んでもらいたい。

< 授業内容 >

- ・研究の方法や内容については各担当教員と相談しながらすすめる。
- ・適切な文献等を集め、専門的な視点から考察を行う。
- ・完成した症例研究論文は査読による評価を行う。

< 教科書 >

< 参考書 >

< 評価方法 >

定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

総合治療論

作業療法学科
3 学年 前期

2 単位 [40 時間]

講義	2 単位	40 時間
実技	単位	時間

担当：

< 講義概要 >

3年次の臨床実習にむけて、これまで学習してきた基礎的知識や専門的知識を再確認し、臨床場面で必要とされる具体的な専門知識や技術を習得する機会とする。

< 学生への要望 >

幅広い知識や技術を備えておくために積極的に講義に臨んでもらいたい。

< 授業内容 >

- ・ 構音障害・失語症の評価と治療
- ・ 経過記録の書き方
- ・ 発達障害のリハビリテーション
- ・ 検査画像の見方
- ・ 介護老人保健施設でのセラピストの役割
- ・ 認知症患者への評価と関わり方
- ・ 手の外科領域の後療法
- ・ 訪問リハビリテーションの現状
- ・ PTOTが知っておくべき薬の知識
- ・ 脊髄損傷のリハビリテーション
- ・ 地域包括ケアシステムと作業療法
- ・ 身体障害急性期のOTの実際
- ・ 身体障害回復期のOTの実際
- ・ 精神障害のOT～根拠に基づく作業療法の実践～
- ・ 車椅子の選択とシーティング
- ・ 生活行為向上マネジメント (MTDLP) 概論
- ・ 暮らしを良くする作業療法
- ・ 身体障害領域の評価の意義
- ・ 精神障害領域の評価の意義
- ・ 救命講習
- ・ 臨床におけるSSTの活用
- ・ OTに必要な動作・歩行介助
- ・ 物理療法の基礎
- ・ レジュメの書き方
- ・ 口腔ケアの実際

< 教科書 > 日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント (第2版) 日本OT協会

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

総合学習Ⅱ

作業療法学科
3 学年 後期

2 単位 [80 時間]

講義	2 単位	80 時間
実技	単位	時間

担当：

< 講義概要 >

国家試験で必要とされる知識について、繰り返し学習する機会を設け、知識の整理と理解を促す。また模擬試験等を活用し、より実践的な環境の下で時間配分や集中力の持続など国家試験に向けた準備性を構築していく。

< 学生への要望 >

国家試験に直結する知識であり、積極的に不足している知識の獲得に努めること。基礎科目については十分に復習をして臨むこと。

< 授業内容 >

- ・病理学
 - ・生理学
 - ・脊髄損傷
 - ・発達障害
 - ・運動学
 - ・統計学
 - ・解剖学
 - ・介護保険/法律関係
 - ・整形外科学
 - ・臨床心理学
 - ・精神医学
 - ・身体障害-神経筋疾患-
 - ・身体障害-高次脳機能障害-
 - ・身体障害-内部障害-
 - ・身体障害-脳血管疾患-
 - ・身体障害-整形疾患
 - ・精神障害
 - ・高齢期障害
 - ・ADL
 - ・義肢装具学
- ・作業療法評価学
 - ・まとめ

< 教科書 >

< 参考書 >

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()

臨床実習Ⅱ

作業療法学科
3 学年 前期

14 単位 [640 時間]

講義	単位	時間
実技	14 単位	640 時間

担当：

< 講義概要 >

本実習は、その体験を通して、対象者の心身構造の理解から活動と参加を認識し、専門職としての態度を養うことである。具体的には、作業療法業務に関する理解を深め、評価の実施と共に目標に応じた治療が実践できるようになることを目的とする。

< 学生への要望 >

臨床での教育は理学療法士、作業療法士という専門職を目指す学生にとって貴重な経験だが、その場は対象者の方々の協力と先輩である専門職の方々の好意によって提供されていることを認識しておきたい。

< 授業内容 >

(演習) 実習オリエンテーション

(実習) 8週間

目標：「治療指向的な統合と解釈ができる」「目標設定および治療計画の立案ができる」

1. 対象者に対する全般的な安全への配慮を学ぶ。
2. 作業療法実施上の倫理的・法的責任への理解を深める。
3. 適切な作業療法評価を行い、統合解釈し、問題・課題を把握する。
4. 問題・課題に対して適切な作業療法プログラムを立案する。
5. 作業療法プログラムに基づいて、基本的な作業療法技術を実施する。
6. 治療効果を検証し、それに基づいたプログラムの確認と修正を行う。
7. その他(施設および作業療法部門の組織・機構・管理・運営の理解、チームワークの重要性の理解など)

(演習) 課題提出と症例発表会

(実習) 8週間

目標：「自らが立案した治療の実践を通して、その経過に関する主体的な考察が行える」

1~7. 同上

(演習) 課題提出と症例発表会

<教科書>	石川 齊	図解 作業療法技術ガイド 第3版	文光堂
	椿原彰夫	臨床実習で役立つリハビリテーション基本技術OT版	診断と治療社

<参考書>	武田淳史	作業処方-症例の分析と思考プロセス	シガカルビュー社
-------	------	-------------------	----------

< 評価方法 > 定期試験 レポート 出席態度

その他： ()